

令和 7年度 事業報告書

横浜市立動物園等指定管理者

1 管理体制

2 運営および経営取組

3 動物の飼育管理

4 施設等の維持管理

5 管理運営経費

令和7年度 横浜市立動物園等 事業報告書 目次

1 総括	4
2 管理体制	5
(1) 動物園等の管理体制	5
(2) 人材マネジメントの取組	6
(3) リスクマネジメントへの対応	10
3 運営および経営の取組	12
(1) 目標達成状況	12
(2) マーケティング戦略の展開	13
(3) 利用者に関わりを深めてもらう取組	25
(4) 動物園マネジメントの取組	28
(5) 学校教育プログラム	32
4 動物の飼育管理	34
(1) 飼育現場での取組	34
(2) 保全に貢献する取組	39
(3) 調査・研究などに対する取組	46
5 施設等の維持管理	49
(1) 施設及び設備の維持管理	49
(2) 園地及び遊具等の維持管理	50
(3) 施設及び設備等の安全対策	51
6 管理運営経費	51
(1) 算定の考え方	51
参考資料	
1 広報印刷物実績	55
2 ホームページでの情報発信実績	56
3 寄付を活用した展示場改修等の実績	57
4 学校教育向けプログラム実績	58
5 動物園研究会実績	60

☐ 指定管理者

法人名	公益財団法人横浜市緑の協会
所在地	中区日本大通 58 番地 日本大通ビル2階(本部)
代表者	理事長 橋本 健
設立年月日	昭和 59 年 10 月 1 日
指定の期間	平成 28 年4月 1 日から令和8年3月 31 日(よこはま動物園、野毛山動物園、万騎が原ちびっこ動物園、金沢動物園ならびに野毛山公園、金沢自然公園)

☐ 施設の概要

施設名	所在地	管理対象施設
よこはま動物園	旭区上白根町 1175-1	管理施設、および便益施設
野毛山動物園	西区老松町 63-10	管理施設、および便益施設
野毛山公園(動物園を除く)		
万騎が原ちびっこ動物園	旭区大池町 65-1(こども自然公園内)	管理施設
金沢動物園	金沢区釜利谷東5-15-1	管理施設、および便益施設
金沢自然公園(動物園を除く)		

☐ 動物点数(令和8年3月 31 日現在)

よこはま動物園	94 種 463 点
野毛山動物園	60 種 827 点
万騎が原ちびっこ動物園	3種 123 点
小計	60 種 950 点 ※同じ種を2園で飼育(3種)
金沢動物園	51 種 1092 点
合計	184 種 2,505 点 ※種数の計は重複種を除いた数

□入園者数(単位:人、カッコ内は前年度比%)

年 度	よこはま動物園	野毛山動物園	万騎が原 ちびっこ動物園	金沢動物園	合計
H11	2,246,476 (-)	354,504 (75.7%)	133,355 (113.2%)	399,049 (65.8%)	3,133,384 (-)
H12	1,336,842 (59.5%)	374,400 (105.6%)	126,780 (95.1%)	283,051 (70.5%)	2,121,073 (67.7%)
H13	1,267,011 (94.8%)	509,514 (136.1%)	143,070 (112.8%)	286,170 (101.1%)	2,205,765 (104.0%)
H14	1,066,189 (84.1%)	474,984 (93.2%)	126,192 (88.2%)	268,841 (93.9%)	1,936,206 (87.8%)
H15	1,059,479 (99.4%)	531,661 (111.9%)	158,962 (126.0%)	271,463 (101.0%)	2,021,565 (104.4%)
H16	959,749 (90.6%)	449,658 (84.6%)	185,484 (116.7%)	264,134 (97.3%)	1,859,025 (92.0%)
H17	1,014,329 (105.7%)	497,875 (110.7%)	172,911 (93.2%)	288,524 (109.2%)	1,973,639 (106.2%)
H18	1,044,563 (103.0%)	542,537 (109.0%)	157,654 (91.2%)	310,237 (107.5%)	2,054,991 (104.1%)
H19	1,107,583 (106.0%)	547,461 (100.9%)	131,037 (83.1%)	301,503 (97.2%)	2,087,584 (101.6%)
H20	1,153,756 (104.2%)	577,807 (105.5%)	134,547 (102.7%)	330,496 (109.6%)	2,196,606 (105.2%)
H21	1,221,868(105.9%)	680,777 (117.8%)	140,678 (104.6%)	355,067 (107.5%)	2,398,390(109.2%)
H22	978,791 (80.1%)	659,759 (96.9%)	105,277 (81.8%)	316,843 (89.2%)	2,060,670 (85.9%)
H23	959,231(98.0%)	765,085(115.9%)	128,577(122.1%)	292,333(92.2%)	2,145,226(104.1%)
H24	889,489 (92.7%)	992,464(129.7%)	164,733(128.1%)	279,980(95.7%)	2,326,666(108.4%)
H25	920,787 (103.5%)	968,855 (97.6%)	174,078(105.6%)	284,843(101.7%)	2,348,563(100.9%)
H26	941,781 (102.2%)	1,012,000(104.4%)	185,864(106.7%)	285,459(100.2%)	2,425,104(103.2%)
H27	1,216,132(129.1%)	1,095,448(108.2%)	138,266 (74.6%)	287,099(100.6%)	2,736,945(112.9%)
H28	1,086,486 (89.3%)	844,401 (77.1%)	121,509 (87.9%)	305,858(106.5%)	2,358,254 (86.2%)
H29	1,149,654(105.8%)	721,131 (85.4%)	126,563(104.2%)	321,990(105.3%)	2,319,338 (98.3%)
H30	1,077,317 (93.7%)	638,518 (88.5%)	121,219 (95.8%)	299,098 (92.9%)	2,136,152 (92.1%)
R1	982,820 (91.2%)	548,927 (86.0%)	106,528 (88.0%)	246,982 (82.6%)	1,885,257 (88.3%)
R2	754,247 (76.7%)	390,886 (71.2%)	34,202 (32.1%)	263,224(106.6%)	1,442,559 (76.5%)
R3	1,032,780(136.9%)	500,925(128.2%)	65,107(190.4%)	322,346(122.5%)	1,921,158(133.2%)
R4	1,027,968(99.5%)	517,802(103.4%)	64,281(98.7%)	288,689(89.6%)	1,898,740(98.8%)
R5	1,007,874 (98.0%)	486,309 (93.9%)	48,879 (76.0%)	259,242 (89.8%)	1,802,304 (94.9%)
R6	1,003,288 (99.5%)	434,262 (89.3%)	38,186 (78.1%)	257,448 (99.3%)	1,733,184 (96.2%)
R7	1,039,831 (103.6%)	493,898(113.7%)	35,315(92.5%)	266,935 (103.7%)	1,835,979(105.9%)

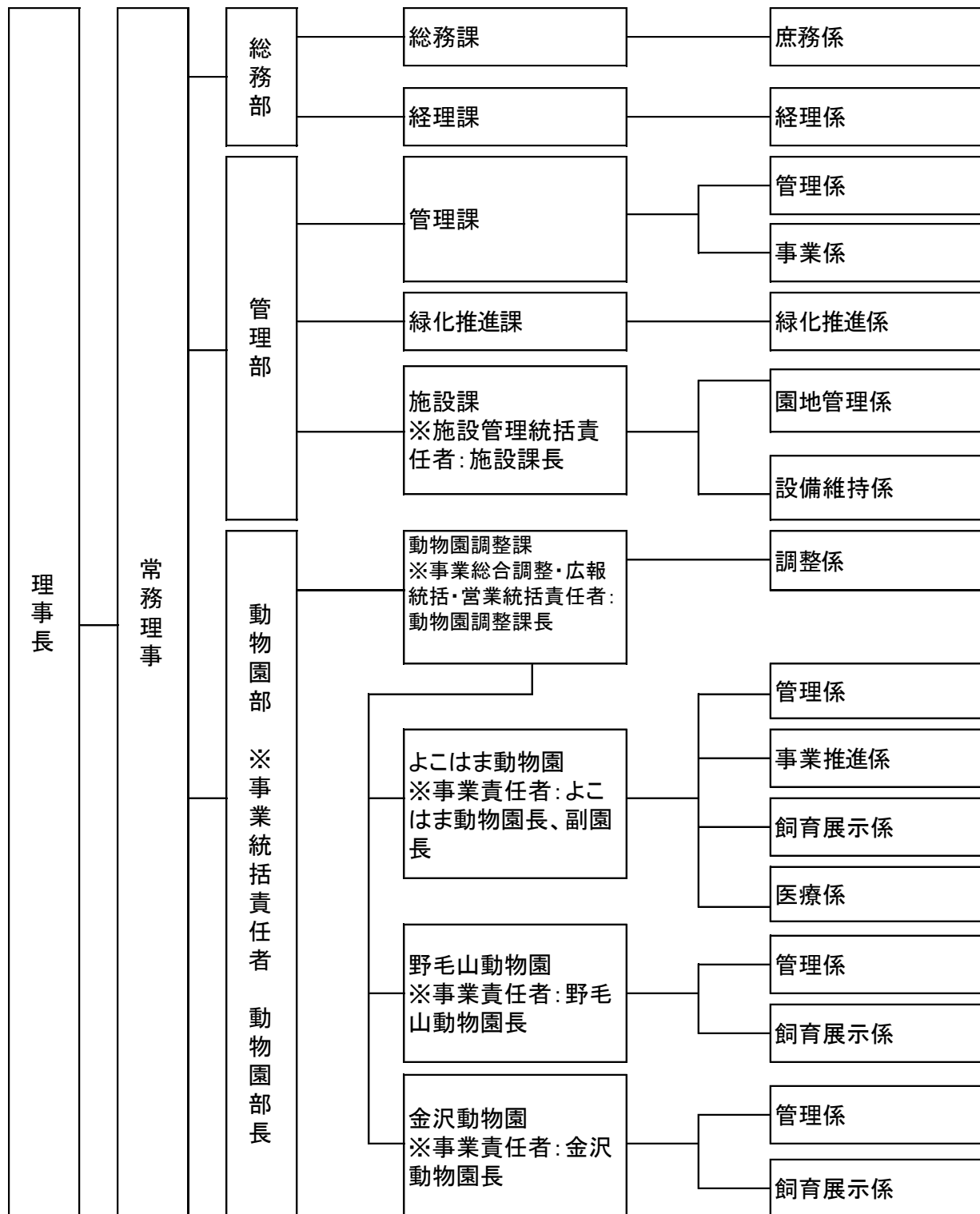
1 総括

動物園の役割である「種の保全」「調査研究」「環境教育」「レクリエーション」に関する事業を、国内外の動物園のみならず多様な主体と連携、協力しながら実施し、その成果を広く世界に向けて発信しました。これらにより、絶滅の危機にある野生動物の生息環境や生物多様性の保全に貢献するほか、市民・来園者の皆様に地球環境保全のための行動変容に努めました。また、横浜市中期計画の施策の1つである、「都市ブランド力の向上に向けた動物園の充実」の実現を目指し、賑わいの創出や教育普及など横浜市と協力して継続的に取り組みました。

2 管理体制

(1)動物園等の管理体制

引き続き、3園の事業統括責任者として動物園部長を配置し、本部、3動物園、横浜市との総合的な調整を動物園調整課が担い、必要に応じて本部役員の判断を受ける事業執行体制としました。また、継続的な体制づくりのため、新たに昇任した1名の係長を野毛山動物園に配置しました。



(2)人材マネジメントの取組

人材育成ビジョンに基づき、職員に対し育成方針や職種ごとの果たすべき役割を推進しました。また、将来的なマネジメント層の育成・専門性向上を図るため、中堅職員研修、マーケティング研修、ファンドレイジング研修を実施しました。

①人材育成基本方針

- ア 職員の「成長実感＝やりがい」を支援する
- イ 職員の能力を向上させ、「自信」を育む
- ウ 「人を育てる組織風土」を醸成し、組織全体の力を高める

②職種ごとの果たすべき役割(人材育成ビジョンより抜粋)

職種	果たすべき役割
事務	施設の管理運営や文書事務のエキスパートとしての役割を担うとともに、市民や横浜市などのステークホルダーと積極的に対話し、調整します。
造園	利用者が安全に施設利用できるよう定期点検、予防保全を図るとともに、地球環境問題への適応策としての緑化、市民連携、環境教育といった幅広い業務に対応します。
動物・獣医	地球の豊かさを未来につなげる役割を担うとともに、市民や国内外の動物園などのステークホルダーと積極的に対話し、調整を図ることで動物園のプレゼンスを高めます。

③研修実施・参加実績

研修や講習への参加のほか、イベントや広報、防災等の展示会に適宜参加し、最新の知見を取得するよう努めました。特に安全対策研修は、動物との事故防止を念頭に各園で年4回実施し、施設確認の徹底を図るとともに他園での事故事例の講演を聴講することで、職員の安全意識の醸成を図りました。

<基本研修>

実施日時	研修名	対象者
毎月	情報セキュリティ研修	全職員
10月30～31日	普通救命講習 (AED含む)	新採用職員、前回受講から3年経過した者
8月～12月 eラーニング	CS・接遇研修	全職員
8月～12月 eラーニング	人権啓発研修	全職員
8月～12月 eラーニング	個人情報保護研修	全職員
8月～12月 eラーニング	ハラスメント研修	管理職
8月～12月 eラーニング	メンタルヘルスケア研修	管理職
12月23日	SDGs研修	各動物園職員
2月27日	安全運転講習	自動車運転従事者
適宜(管理職から職員へ各所属にて実施)	職員向けメンタルヘルスケア研修	全職員

< 専門職研修 >

実施日	研修名	対象者
毎月	楽しく学ぶ動物園学(よこはま動物園園長による講義)	動物職員
毎月	動物園研究会	各動物園職員
5月13日	関東東北・北海道ブロック第1回動物園技術者研究会(金沢動物園)	動物職員
6月10日	第1回保全管理研修	動物・造園職員
8月1日	神奈川県立博物館協会第2回研修会	動物職員
9月25日～26日	アニマルウェルフェアに関する国際シンポジウム(関係者向け)	動物職員
10月2日	関東東北・北海道ブロック第2回動物園水族館合同技術者研究会(ふくしま海洋科学館アクアマリンふくしま)	動物職員
10月24日～12月19日	動物取扱責任者研修(期間中に動画視聴)	動物職員
12月6日～7日	個体群管理研修会	動物職員
12月10日	第2回保全管理研修	動物・造園職員
12月10日～11日	令和7年度動物園参加型研修会(ワークショップ)	動物職員
12月22日～23日	野生動物保護研修(アオバト)	動物職員
2月3日～5日	動物園技術者研究会(アドベンチャーワールド)	動物職員
12月24日～25日	油等汚染事故対策水鳥救護研修(現地研修)	動物職員
1月8日	第3回樹木植栽管理研修	造園職員
1月21日	関東東北・北海道ブロック第3回動物園技術者研究会(宇都宮動物園)	動物職員
2月5日	関東東北・北海道ブロック動物園飼育係研修会(足立区生物園)	動物職員
2月12日	第3回保全管理研修	動物・造園職員
2月24日	ペンギン類の飼育及び個体群管理勉強会	動物職員
① 4月② 7月③ 11月 ④ 3月4日(Zoom) 3月4日～30日(後日動画視聴)	安全対策研修①～④(全4回:①～③各園④3園)	動物職員
6月～8月(動画視聴)	アニマルウェルフェア勉強会	動物職員
10月	ファンドレイジング研修	動物職員

< 階層別研修 >

実施日	研修名	対象者
4月1日	新採用飼育・ガイド研修	新採用動物・獣医職員
10月14日～12月7日	中堅職員研修(e ラーニング)(期間中視聴)	総合職員Ⅱ採用7年目職員

10月14日～12月7日	ベテラン職員研修(eラーニング)(期間中視聴)	総合職員Ⅱ採用18年目職員
10月14日～12月7日	管理職研修(eラーニング)(期間中視聴)	管理職(係長、課長補佐)
10月14日～12月7日	課長研修(eラーニング)	管理職(課長)
11月10日～12月7日	部長研修(eラーニング)	管理職(部長)
3月6日、9日、11日	マーケティング研修	イベント企画や集客に係る職員
各自年間4日間	若手職員研修	総合職員Ⅱ採用5年未満の動物職員

④新たな人材育成支援制度

新たに職員が自律的かつ持続可能な組織運営を担えるよう、資格支援制度を見直し、職員自身の発意による支援制度を試行実施しました。

令和7年度は、制度を活用し動物職員2名がゾウ飼育ワークショップに参加し、知識や技術の向上を図りました。

⑤資格取得の奨励

(公社)日本動物園水族館協会(以下、「日動水」という。)の飼育技師上級試験に新たに5名が合格しました。また、業務を安全に遂行するため、41名が様々な資格を取得しました。

【資格取得実績】

資格名	取得目的	取得人数
飼育技師	職員(動物職)の資質向上のため(日動水加盟園館在籍2年以上)	(よ) 3名 (野) 1名 (金) 3名
飼育技師(上級)	職員(動物職)の資質向上のため(飼育技師を有し、日動水加盟園館在籍10年以上)	(よ) 3名 (野) 1名 (金) 1名
フォークリフト運転技能講習(1トン以上)	獣舎清掃に必要なため	(よ) 3名
刈払機取扱作業従事者安全衛生教育	展示場及び公園内の除草に必要なため	(よ) 8名
フルハーネス型墜落制止用器具特別教育	止まり木のメンテナンス等高所での作業に必要なため	(よ) 4名
振動工具取扱作業従事者安全衛生教育	飼育環境整備に必要なため	(よ) 3名
丸のこ等取扱い作業従事者に対する安全衛生教育	飼育環境整備に必要なため	(よ) 2名
小型車両系建設機械運転の特別教育(ボブキャット)	飼育環境整備に必要なため	(よ) 4名
アーク溶接特別教育	飼育環境整備に必要なため	(よ) 2名
チェーンソー伐木等特別教育	飼育環境整備に必要なため	(よ) 1名
研削といしの取り換え等の業務	飼育環境整備、公園管理に必要なため	(よ) 2名

⑥安定的な雇用と技術継承への取組

令和6年度の退職者の補充等として、1名を係長（動物職）に昇任させるとともに新たに2名の職員（動物職2名）を採用し、若年層を補強しました。また、若手職員への技術継承にもOJTを通じて取り組みました。

【主な技術継承への取組の一例】

動物園	取組の一例
よこはま	ゾウ飼育担当職員に対し、マニュアルに沿って育成を実施。 飼育動物の麻酔下での処置にあたり、3動物園獣医師が相互応援を実施。
野毛山	野毛山動物園リニューアル計画に基づく各動物の搬出作業において、実践研修を実施。（動物種：ニホンツキノワグマ、コンドル、ダチョウ、バードケージ鳥類等）
金沢	ゾウ飼育担当職員に対し、マニュアルに沿って育成を実施。 保全活動の人材育成を目的とした研修を実施。

⑦良好な職場環境作りへの取組

職員が安全に業務に取り組めるよう、健康管理・職場環境の向上に努めました。特に、夏季の屋外作業においては、労働安全衛生規則の一部改正に合わせ、熱中症対応フローを各園で作成し、職員の熱中症予防に注力しました。

また、横浜健康経営認証（※）において、「クラス AA」に認証され、外部講師による健康講習会を実施しました。

【健康管理・職場環境づくり実績】

項目名	実施日
予防接種（破傷風、B型肝炎）	5月～12月
定期健康診断	7月～12月
健康講習会（安全衛生委員が代表して受講）	11月
特定業務従事者健康診断（レントゲン、滅菌、潜水作業等）	年2回
安全衛生委員会（よこはま）	毎月1回
公用車へのドライブレコーダー取り付け	常時
衛生推進委員会（野毛山・金沢）	適宜

※横浜健康経営認証とは

職員の健康づくりを経営的な視点から考え、戦略的に実践する「健康経営」に取り組む事業所を外部委員で構成される委員会で審査、横浜市長が認証する制度（健康福祉局健康推進課所管事業）。

⑧女性の活躍推進に関する取組

厚生労働省が定める、女性の職業生活における活躍の状況に関する実績に係る基準の5項目全てを満たし、実施状況を女性の活躍推進企業データベースに毎年公表していることから「えるぼし（3つ星）」の認定を受けました。今後も女性をはじめ、全ての職員が活躍し働きやすい職場作りに取り組んでいきます。

(3)リスクマネジメントへの対応

動物園の防災マニュアルに基づき、防災訓練等を行ったほか、動物の逸走を想定した捕獲訓練を実施しました。また、気象警報の発生時には、マニュアルに基づく特別巡視を行い、被害状況の確認、危険個所の封鎖等の安全措置を講じた上で、早期復旧に努めました。

【訓練実施実績】

< 情報受伝達訓練(当団体全体) >

実施日	令和7年9月 25 日
参加人数	当団体職員、委託業者スタッフ、約 300 名
訓練内容	午前 10 時に、横浜市域で震度6強の地震が発生した想定の下で、情報受伝達訓練を実施。職員の被災・出勤状況の把握、園内の被災状況を調査し、動物園調整課に情報を集約し、各種被災状況を協会本部総務課へ報告した。

< 遠隔情報受伝達訓練(県博協主催) >

実施日	金沢: 令和8年2月4日
参加人数	金沢動物園職員3名
訓練内容	令和8年2月4日(水)午前に大型で強い台風(平成26年台風第18号と同規模のもの)が神奈川県域を横断したという想定で訓練を行った。各加盟館園は想定される被害を所属するブロックの幹事館園へ報告した。

< 防災訓練 >

実施日	よこはま: 令和7年 10 月1日
参加人数	当団体職員、委託業者スタッフ、34 名
訓練内容	旭消防署都岡出張所の協力を得て、防災訓練を実施した。 所長から防災について講話を受け、訓練では炎に見立てたプレートに向かい放水する消火訓練や、火災現場内を想定した煙体験、屋内消火栓を使用した大規模な放水訓練を実施した。

実施日	野毛山: 令和7年8月 25 日
参加人数	当団体職員 23 名
訓練内容	地震等の災害発生を想定し、消火活動や避難誘導、被害状況確認、危険獣安全確認等を確認する机上訓練を行った。

実施日	金沢: 令和7年 12 月1日、2日
参加人数	当団体職員 15 名(1日)、委託業者スタッフ 15 名(2日)
訓練内容	金沢消防署釜利谷出張所の協力の下、初期消火訓練を実施した。煙幕発生器を使用した煙体験、水消火器による消火訓練。園内に常設の散水栓を使用した放水訓練を行い、消防署所長から火災時の対応について講話を受けた。

< 林野火災対応訓練(消防局主催) >

実施日	金沢: 令和8年1月 26 日
参加人数	消防隊等 20 隊(約 100 名)、当団体職員3名

訓練内容	林野火災の発生を想定し、消火活動および延焼拡大防止のため、ヘリコプターによる散水や地上部隊の活動を行い、関係機関との連携や警防体制の強化を目的とする訓練。金沢動物園長が119番通報(第一報)し、訓練をスタートした。
------	---

<安全対策研修>

第1回目	指差喚呼
実施日	よこはま・野毛山:4月 金沢:5月
参加人数	よこはま:46名 野毛山:23名 金沢:22名
講義内容	指差喚呼の目的と効果を学び、指差喚呼の徹底等について講義

第2回目	獣舎点検、事故事例
実施日	よこはま・野毛山:7月 金沢:8月
参加人数	よこはま:63名 野毛山:23名 金沢:32名
講義内容	1週間にわたり獣舎の施設チェック、事故事例の共有

第3回目	ヒヤリハット
実施日	野毛山:10月 よこはま:12月 金沢:3月
参加人数	野毛山:23名 よこはま:36名 金沢:23名
講義内容	事前課題として班ごとにヒヤリハット事例の共有、考察と対策。その後全体で発表し共有と考察

第4回目	外部講師による講義
実施日	3園 1月
参加人数	よこはま:60名 野毛山:23名 金沢:27名
講義内容	安全対策に関する講義の録画映像視聴と視聴後の振り返りによる安全意識の啓発

<二輪車安全運転講習>

実施日	金沢:令和7年11月10日
参加人数	金沢動物園職員:3名 その他
講義内容	金沢警察署交通総務課及び白バイ隊員(交通機動隊)による二輪車の運転の基本的な操作について、講義と実技の講習を行った。

実施日	金沢:令和8年2月9日
参加人数	金沢動物園職員:3名 その他
講義内容	金沢警察署交通総務課及び白バイ隊員(ホワイトエンジェルス)による二輪車の運転の基本的な操作について、講義と実技の講習を行った。

<動物逃亡捕獲訓練実施実績>

実施日	よこはま: 令和7年12月9日
参加人数	当団体職員、インフォメーション職員、警備職員 65名
訓練内容	これまでに当園で実際に発生した事故をもとに、第1部でメガネグマ、第2部でライオンがそれぞれ舎内逸走した事故を想定し、捕獲訓練を実施した。それぞれの事故への

	対処を振り返ること、改善点を抽出することを目的に訓練シナリオを作成し、より実践的な訓練となるよう実施した。また、捕獲用具等の使用確認を行った。
--	---

実施日	野毛山：令和8年3月2日
参加人数	当団体職員 16 名
訓練内容	アカエリマキキツネザルの健康診断に伴う全頭捕獲に合わせて実地訓練を実施した。 その他、捕獲用具点検を実施した。

実施日	金沢：令和8年3月 16 日
参加人数	当団体職員 23 名
訓練内容	カモシカの脱走を想定し、捕獲網の使用方法的確認及び、捕獲網による追い込みとの陣形確認を実施した。

3 運営および経営の取組

(1)目標達成状況

夏の猛暑などの影響はあったものの、夜の動物園が好調だったことやよこはま動物園ではホッキョクグマの親子公開、野毛山動物園ではなかよし広場等のリニューアルオープン、金沢動物園ではコアラの親子公開等により前年度を上回る入園者数となりました。

よこはま動物園は5年連続で 100 万人を超えるお客様に来園いただきました。

※各園の入園者分析は(2)マーケティング戦略の展開①を参照

①入園者数

7月～9月の連日の猛暑のため日中の来園者数が減ったこと、全国的なバスの運転手不足により、例年バスによる団体客が多い、よこはま動物園と野毛山動物園での伸び悩みにつながった可能性があります。目標入園者数には届かなかったものの、よこはま動物園では5年連続で 100 万人を超えるお客様に来園いただきました。

園名	目標入園者数	令和7年度入園者数 (目標達成率)
よこはま	1,250,000 人	1,039,831 人(83.1%)
野毛山	700,000 人	493,898 人(70.5%)
金沢	330,000 人	266,935 人(80.8%)

②種の保全(国際的な繁殖計画への参画・連携数)

生息域外保全施設として動物福祉(アニマルウェルフェア)に配慮しながら、動物の移動や繁殖等の飼育管理により、飼育下個体群の遺伝的多様性の保持に努めました。感染症や法的規制で海外からの収集が困難になることを見据え、下記の取組概要のとおり目標達成に向け、2段階に分けた取組を進めました。

目標	セスジキノボリカンガルー・レッサーパンダ等 10 種について、国際的な繁殖計画へ参画・連携する。
取組概要	【取組】主に以下について取り組みました。 ＜ペアリングを行い繁殖に向け重点的に取組む種＞ ① スマトラトラ:GSMP*に沿ったペアリングの実施(継続)

	② レッサーパンダ:GSMP に沿ったペアリングを実施し2頭繁殖 ③ オカピ:SSP**に沿ったペアリングの実施、国際オカピ会議への参加(継続) ④ ヤブイヌ:EEP***に沿ったペアリングの実施(継続) <累代繁殖を継続するため、海外との収集、交流に取り組む種> ⑤ ヘサキリクガメ:国際血統登録者(兼 EEP 調整者)と協力し、台湾・台北市立動物園と希少カメ類の個体交換の契約を締結。 ⑥ インドライオン:海外からの収集に向けた情報収集、国際血統登録者への飼育報告(継続) ⑦ コアラ:オーストラリアとのアンバサダー契約に基づき、飼育報告書の提出や個体導入のための継続的な調整を実施(継続) ⑧ テングザル:インドネシアとの保護協定に基づき、飼育報告書の提出や繁殖のための継続的な調整を実施(継続) ⑨ ユーラシアカワウソ:海外導入個体を用いたペアリングの実施 ⑩ セスジキノボリカンガルー:GSMP に則った海外からの個体導入調査
--	---

*GSMP:世界動物園水族館協会(WAZA)が策定する国際種管理計画

**SSP:北米動物園水族館協会(AZA)が策定する種保存計画

*EEP:欧州動物園水族館協会(EAZA)が策定する欧州絶滅危惧種計画

③学校教育プログラムの改善

プログラムの改廃により 27 種のプログラムを実施し、目標3件に対し、3件のプログラム内容を改善しました。※プログラム詳細は P.58～60 に記載

目標	学校等の団体に 27 種の学校教育プログラムを実施し、これらプログラムについての改善を3件以上行うこととする。
取組概要	① プログラム「どうぶつ園のじゅうい」「どうぶつの赤ちゃん」の過年度スライド資料を現状の内容に更新し、子どもたちの理解促進に寄与した。(よこはま) ② 「どうぶつの赤ちゃん」(出張プログラム)を学校のニーズに合わせ、動物の登場順を教科書と合わせた。また画像の更新も行った。(野毛山) ③ どうぶつえんレクチャー「虫はかせになろう」実施時に、金沢自然公園内に生息する身近な昆虫の標本を追加し展示した。標本教材を増やすことで、昆虫生体が展示できない秋冬期にも体感的な学習を引き出した。(金沢) ※その他、引き続き学校の要望に応じて、オンライン等非接触でのプログラムを随時実施した。

(2)マーケティング戦略の展開

未来の世代に、より豊かな地球環境を残していけるように、動物園が持つ4つの役割を3動物園それぞれが持つ特徴に沿った形で果たし、多くの方々と一緒に野生動物とその生息環境を知り、考え、学び、そして行動することで自然と共生できる社会を作ることを目指し、より多くの皆さまに来園していただくため広報集客活動に取り組みました。

また、動物園への関心をより深めることで、動物園に支援をいただけるよう努めるとともに、令和6年度に実施した3動物園のブランディングのための基礎調査をもとに、各園のブランドの浸透のための業務整理と広報・PRにおける現状分析、マーケティング戦略の立案及び効果検証を行う仕組みづくりを実施しました。

①令和7年度3園の入園者分析

園名	入園者分析
よこはま	利用者アンケートでは、横浜市内だけでなく神奈川県内や東京都、他の都道府県からも広く来園されていることから、そのエリアも含んだ広報活動を行いました。気候帯別・地域別の生息地を再現したデザインコンセプトを活かし、世界を旅するようなワクワク感や動物たちの魅力を体感できる動物園として認知いただけるようイベント内容や広報活動を拡充しました。特にマスメディアの夜の動物園の特集取材対応、WEB 広告や SNS 投稿の拡充による認知向上と興味喚起施策を行いました。また、沿線の相鉄グループや JR 東日本とのクイズラリー、レゴランド東京などと連携して回遊策を行うことで、広域からの誘客を図りました。
野毛山	4月 22 日になかよし広場やなかよし休憩所、ペンギン展示場等がリニューアルオープンし、工事以前の賑わいが戻りました。新たに完成したなかよし休憩所を活用し、夏季のモルモットのふれあいや様々なイベントを実施し、お客様にも大変好評でした。「しろくまの家」でのいけ花家元とのコラボイベントや市立図書館との連携イベントを実施するなど、新たな動物園ファンの獲得にも取り組みました。 ホームページや SNS で「お子様の初めての動物園 First Zoo」を野毛山動物園のコンセプトとして前面に打ち出し、特に親子連れに利用しやすい動物園として認知いただけるように取り組みました。
金沢	緑豊かな周辺環境の保全に取り組むとともに、横浜市の環境保全教育の拠点として PR できるよう動物園ならではの域内保全の取り組みに関する取材を積極的に対応しました。毎日新聞社で掲載された SDGs の取組の記事をきっかけに NHK「視点論点」において循環型動物園として紹介されるなど PR を拡大できました。 公式マスコットキャラクターの「ゆーかりん®」の商標登録を行い、動物園のブランディングを確立する準備を整えました。

②潜在的な来園者を想定した来園者増の取組

来園されたことのないお客様の来園を促すため、広報活動、民間事業者との連携活動を通じて認知度の向上を図りました。

ア マーケティング改善

顧客が「お出かけしたいから3動物園に行こう」と考え、来園後に「やっぱり行ってよかった」と実感するサイクルの定着を目指し、コンサルタント会社から伴走支援を受け改善に取り組みました。各園のブランド方針の共有を図るとともに、各園ホームページのアクセスログダッシュボードの作成を行いデジタル指標による分析環境を構築しました。

【各園のブランド方針】

よこはま:世界旅行をしているような動物園(世界をめぐりいのちに出会う)

野毛山:First Zoo(みんなにとって初めての場所)

金沢:森をキーワードに検討中

イ 目標達成状況

広報活動に関する目標達成状況については、以下のとおりでした。

種別	媒体	令和7年度目標および実績	
直接 広報	ポスター、チラシ、ホームページ、SNS 等 (P.15～17 参照)	目 標	・ポスター制作:4回 ・ホームページイベント特設サイト制作:1回
		実 績	・ポスター制作:5回(春1、夏2、秋1、冬1) ・ホームページイベント特設サイト制作:1回(よ1)
間接 広報	記者発表、雑誌、市・区 広報紙、web (P.17～18 参照)	目 標	メディア掲載件数:1,000 件
		実 績	700 件 テレビ・ラジオ:141 件(よ 66、野 33、金 42) インターネット、新聞、雑誌、広報誌、フリーペーパー等:559 件(よ 313、野 134、金 112) ※令和4年度より掲載件数の算出方法を1社掲載につき1件に変更した。(従前は、1社が複数掲載した場合は複数件としていた。)
広域 広報	SNS (Instagram) での広 報(P.16～17 参照)	目 標	3園それぞれのアカウントを運用開始:年 10 回投稿
		実 績	1,552 件(よ 491 件、野 502 件、金 559 件)

ウ 直接広報

(ア) 看板類の掲出

各園の利用者層やエリアに合わせ、様々な媒体・方法で広告・宣伝活動を行いました。

【主な看板类等掲出状況】

園名	掲出場所
よこはま	横浜駅(相鉄線)、鶴ヶ峰駅(相鉄線)、三ツ境駅(相鉄線)、中山駅(グリーンライン・JR)、新横浜(ブルーライン・ST 線)等
野毛山	動物園通りバナーフラッグ、野毛山商店街、野毛山動物園前バス停前・野毛坂中間の三園掲示板、野毛ちかみち掲示板、ぶらり野毛山 BUS 等でのポスター掲出。野毛山商店街連携でのデジタルサイネージ放映(野毛ちかみち)等
金沢	関東学院大学・すずらん商店街との共同バナーフラッグ(すずらん商店街)、大型看板(金沢文庫駅ホーム)、ホームベンチ看板(洋光台駅ホーム)、バナーフラッグ(ふれあい商店街)、京急バス車体広告(能見台・金沢文庫エリア7台)等

(イ) 広告の出稿

イベント情報や施設情報について、効果的な情報発信を行うため、有料広告の出稿を行いました。引き続き横浜市営バス(ぶらり野毛山 BUS)への3動物園のポスターを季節ごとに掲出するとともに、夜の動物園の実施に合わせて、東急線の駅ビジョンやみなとみらい周遊バスの車内デジタルサイネージなど複数の媒体を組み合わせた PR を実施しました。また、よこはま動物園ではおでかけサイト「いこーよ」の WEB 広告を活用し、関東エリアとファミリー層をターゲットとした誘客を図りました。

【広告出稿実績】

園名	媒体名	内 容
3園	横浜市営バス	季節のイベント情報
	東急線駅ビジョン(TOQ)	よこはま夜の動物園 PR
	東急田園都市線車内サイネージ(OTV)	よこはま夜の動物園 PR
	みなとみらい周遊バス車内サイネージ	よこはま夜の動物園 PR
	みなとみらい線横浜駅大型ポスター	よこはま夜の動物園 PR
	YouTube 広告	よこはま夜の動物園 PR
よこはま	Instagram 広告	ナイトズーラシア、秋の行楽シーズン情報
	おでかけサイト「いこーよ」WEB 広告	ファミリー層をターゲットとしたイベント情報、施設紹介
金沢	タウンニュース・はまかぜ新聞	暑中見舞い、正月の施設名刺広告
	【新規】駅周辺案内図	金沢文庫駅改札口の周辺案内図の広告掲出

(ウ) 各種広報印刷物(ポスター、チラシ、リーフレット等)の制作、配布、掲出

3動物園ではポスター等において、FSC 認証紙やベジタブルインクなど環境に配慮して制作、掲出しました。※実績については参考資料 P.55～56 を参照

(エ) ホームページ、SNS の活用

ホームページやブログでは、積極的に最新情報を発信し、動物園の理解促進につなげました。また、SNS(Facebook、X、Instagram)、動画共有サイト(YouTube)を利用し、イベント情報や飼育動物についての情報等をタイムリーに発信し、情報の拡散につなげました。

令和7年3月より、これまで3園合同で運用していた Instagram アカウントをズーラシアアカウントとし、野毛山動物園と金沢動物園については別アカウントを開設することで、園ごとにより広い層への情報発信に努めました。

【ホームページアクセス件数】

園名	令和7年度	前年度比
3園合計	4,716,336 件	+ 737,600 件

【ブログでの情報発信・閲覧件数】

		令和7年度	前年度比
3園合計	発信件数	819 件	- 236 件
	閲覧件数	3,401,626 件	+ 170,411 件

【SNS キャンペーン実績】

園名	概要
よこはま	令和6年に誕生したホッキョクグマのライの1歳を記念して、X のハッシュタグを用いた写真募集キャンペーンを実施しました。写真投稿件数は 1,516 件と多くの方にご参加いただきました。また、職員が選定した写真による写真展も開催しました。

野毛山	なかよし広場リニューアルオープンに合わせ、オープンまでのカウントダウン投稿を実施しました。シマウマをテーマにしたシリーズ投稿「しましま便」(全 13 件)の発信や世界〇〇の日に合わせた投稿を行うことでフォロワーの獲得や情報の拡散に努めました。
金沢	コアラの日に合わせてコアラ飼育園7園で連携し、SNS リレーを実施しました。飼育園館でのリツイート効果により閲覧数 14 万となりました。

エ 間接広報

(ア) プレスリリースを中心とした積極的なパブリシティ活動

積極的・効果的なプレスリリースを行い、テレビ・新聞をはじめとする多様な媒体に向けパブリシティを活用しました。また、継続して PR TIMES の活用を始め、インターネット媒体への情報発信を増やしました。

金沢動物園では引き続き MEO 対策システム(※)を導入し、認知度の向上、誘致に努めました。

※地図検索エンジンにおいて、自社の店舗やサービスを上位表示させるためのシステム

【プレスリリース件数】

	記者発表件数(前年度比)	メディア掲載件数(前年度比)
3園合計	65 件(+16 件)	700 件(+176 件)

<反響の大きかった記事>

園名	概要
よこはま	令和7年5月からのホッキョクグマの子ども「ライ」の公開やレッサーパンダ・フランソワルトン・テングザルの誕生、ナイトズーラシアについて、テレビや雑誌等で多く取り上げられました。
野毛山	令和7年 11 月に来園したマヌルネコの「フィーガ」や、令和8年2月に誕生したミナミコアリクイの「ふく」についてラジオやインターネット記事で多く取り上げられました。
金沢	ブログや SNS で発信していた生まれたてのカンガルーの赤ちゃん画像やコアラの体重測定の様子がテレビ局の目に留まり、画像提供の依頼が多くありました。ブログをきっかけに傷病鳥獣事業について新聞社から取材を受けました。

(イ) 当団体広報誌、行政広報紙等への掲載

当団体が年4回発行し、管理運営する公園やその他関係施設において配布を行う季刊誌「みどり」に年間を通じて動物園情報を掲載しました。また、3園ともに、「広報よこはま」やタウン紙への情報提供を継続的に行いました。

【行政広報紙への掲載実績】

園名	概要
よこはま	広報よこはま旭区、緑区、瀬谷区、都筑区、泉区、戸塚区、神奈川区、保土ヶ谷区版にて情報を毎月掲載しました。
野毛山	広報よこはま西区版へ情報を掲載しました。タウンニュースに、ミナミコアリクイ「ムム」の赤い羽根共同募金 PR 大使就任の記事が掲載されました。

金沢	広報よこはま金沢区、戸塚区版へ情報掲載しました。タウンニュースにはののほな便りが毎月掲載されたほか、アマミトゲネズミの展示開始やゆーかりん表彰式など多彩な記事が掲載されました。
----	--

オ 園外 PR・地域連携活動

近隣地域を中心に、動物園外において実施されるイベント等に協力することで動物園の PR を積極的に行い、来園促進に取り組みました。

【主な園外 PR・地域連携活動実績】

(ア)3園共通

実施日	連携先	取組概要・実績
4月 19 日(金沢) 4月 26 日(よこはま) 5月 10 日(野毛山)	【新規】石村嘉成展	横浜赤レンガ倉庫にて開催された石村嘉成展にてスペシャルナイトサファリわくわくガイドを実施しました。この他スタンプラリーなども行いました。
8月16日、24 日	【新規】キュービックプラザ新横浜	お面づくりワークショップを実施しました。
10 月 11 日	【新規】イオンリテール株式会社	イオンスタイル天王町で開催された「神奈川再発見！フェア」にて、お面づくりワークショップと着ぐるみグリーンディングを実施しました。
11 月8日、9日	【新規】キュービックプラザ新横浜	お面づくりワークショップと「飼育員さんと一緒に学ぼう！出張どうぶつ教室」を開催しました。

(イ)よこはま

実施日	連携先	取組概要・実績
(12 月 19 日)～5月 11 日	JR東日本	横浜線車内ラッピング、クイズラリー等を実施し、相互 PR や利用促進につなげました。
(3月 19 日)～5月6 日、9月 20 日～10 月 19 日、3月 19 日～(5 月6日)	里山ガーデンフェスタ	身近な野生動物に関する講座と入園料の割引により、来園促進につなげました。 里山ガーデンからの割引利用来園者：R7春 2,052 名、秋：1,514 名、R8春 109 名
4月 29 日	四季の森まつり実行委員会	「四季の森まつり」に出展し、利用促進につなげました。
5 月 24 日	小川クリニック	ご寄付をいただいている小川クリニックとタイアップし、親子でズーラシアに行こう with 小川クリニックを実施。ゾウ舎のバックヤードツアーや、おやこのおはなし会を行いました。 参加者：77 名
9月 21 日	良品計画	大判ハンカチ第二弾販売を記念し、無印良品 Colette・Mare みなとみらいにて、お話をしました。
10 月 19 日、11 月3 日、8日	中山商店街、旭区、緑区、港北区	区民・地域の祭りで園外 PR を実施しました。

2月6日～(4月 19 日)	【新規】レゴランド東京	ズーラシアの動物に関するワークショップをレゴランド東京やズーラシアで実施。また、レゴランド東京内でのズーラシアの動物レゴや紹介パネルの展示、半券チケット特典等による相互誘客施策を行い、利用促進につなげました。
2月1日～3月 31 日	【新規】相鉄グループ	ズーラシアの動物イラストの車両内ラッピングや駅構内でのポスター等を掲載し認知・興味向上に寄与しました。また、スタンプラリーを実施し、利用促進につなげました。
2月 11 日	【新規】パルシステム生活協同組合	園長、飼育職員、パルシステム関係者による環境保全にかかわる講座を実施しました。また、関連した特集記事による認知度向上にも寄与しました。 参加者:現地 41 名、オンライン 218 組
3月1日～31 日	【新規】JR 東日本	JR 十日市場駅をスタート地点とし、ズーラシアなどのスポットを巡り、JR 中山駅をゴールとするハイキングイベントに協力。地域の活性化への貢献や相互 PR、利用促進につなげました。

(ウ)野毛山

実施日	連携先	取組概要・実績
7月 19 日～8月 31 日	神奈川県立歴史博物館含む近隣博物館	「ミュージアムミッション 2025」を実施しました。 参加者:4,733 名
10 月1日～3月 31 日	横浜市社会福祉協議会	共同募金 PR 大使に就任したミナミコアリクイのバッジを寄付者に配布(約 400 件)することにより、募金と来園促進につなげました。
10 月6日	西区福祉保健課 西区ヘルスメイト 保健活動推進員	動物内でウォーキングやスタンプラリーを行う「野毛山ウォーキングスタンプラリー」を実施しました。 参加者:223 名
11 月9日	西区総務課統計選挙係	区民・地域の祭りで園外 PR を実施しました。
11 月 18 日～12 月 21 日	横浜市中心図書館	野毛山動物園と中央図書館の往来を促すスタンプラリーを実施しました。あわせて、動物園職員が中央図書館に出張し、派生物を用いたガイドを行った他、図書館職員による絵本の読み聞かせを動物園内で実施しました。 スタンプラリー参加者:1,820 名
11 月 29 日、12 月 21 日	横浜商科大学 野毛地区振興事業協同組合 野毛地区街づくり会	園長による「動物園の歴史」をテーマとしたガイド・講演会等を実施しました。 参加者:52 名
12 月2日、4日	生活クラブ事業連合 生活協同組合連合会	みなとみらい周遊イベントへの協力として、園内ガイドや園長によるガイドを実施しました。 参加者:30 名

2月7日～2月23日	横浜市にぎわいスポーツ文化局 横浜市観光協会	『18TRIP』×横浜市コラボキャンペーンへ協力し、園内にフォトスポットを設置しました。
3月20日	公益財団法人横浜市スポーツ協会	公益財団法人横浜市スポーツ協会が主催するイベントに協力し、野毛山動物園をウォーキングポイントとして提供しました。

(エ) 金沢

実施日	連携先	取組概要・実績
通年 (ポスターは季節ごとに適宜交換)	ビアレ横浜	ビアレ横浜の渡り廊下に動物写真や季節のポスターを掲出し、園のPRにつなげました。
4月5日	【新規】GOOD OPEN AIRS	海の公園で実施されたイベント「GOOD OPEN AIRS」にブース出展しました。
4月19日	シーサイドライン	シーサイドラインフェスタにブース出展しました。
5月31日～7月13日	金沢図書館	「絵本の動物に会いに行こう！＃オカピ」で、図書館でのパネル展(5/31～7/13)、動物園でのおはなし会とオカピの観察会(6/28)を実施しました。 参加者:16名
6月22日	【新規】金沢スポーツセンター	金沢スポーツセンターオープンイベントにブース出展しました。
7月1日～7月31日	【新規】横浜市国際局	横浜市国際局が主催の、横浜市姉妹都市バンクーバーについて周知するパネル展と、オオツノヒツジの特別ガイド(7/5, 7/12, 7/19, 7/26)を行いました。
10月18日	金沢区役所	金沢区民まつりいきいきフェスタにブース出展しました。
10月13日	株式会社京急アドエンタープライズ	京急キッズチャレンジ「金沢動物園でたのしく、オカピを学ぼう！守ろう！」を開催しました。 参加者:22名
12月6日	【新規】横浜市国際局	「姉妹都市バンクーバーを知ろう！～横浜から世界とつながる～」と題した、横浜市国際局が主催の横浜市姉妹都市バンクーバーについて周知する講演会を行いました。 参加者:50名
12月21日	小川クリニック	ご寄付をいただいている小川クリニックとタイアップし、親子で金沢動物園に行こう with 小川クリニックを実施、動物クイズ大会とヤギさんのおやつタイム、インドゾウのガイドを行いました。 参加者:103名

1月 14 日	ハマの JACK	ハマの JACK と連携し、金沢区音楽振興事業「ハマの JACK 室内楽コンサート」に音楽とともに流す動物映像の提供をしました。
1月 17 日	横浜金沢観光協会	海の公園どんど焼きにブース出展しました。どんど焼きには金沢自然公園で間伐した竹を活用しました。

カ 団体利用者等の誘致活動

学校団体の誘致や前売券契約、福利厚生団体等との契約を行い、来園促進を図りました。

【学校団体入園者数状況】

園名	区分	保育園・幼稚園	小学校	中学校	高校	計
よこはま	団体数	405	384	65	64	918
	人数	24,162	37,370	2,177	1,485	65,194
野毛山	団体数	250	182	14	15	461
	人数	11,949	15,660	742	1,197	29,548
金沢	団体数	175	151	25	5	356
	人数	9,502	12,317	685	87	22,591
計	団体数	830	717	104	84	1,735
	人数	45,613	65,347	3,604	2,769	117,333

【前売券入園数状況】

名称	割引率	実施期間	よこはま(人)	金沢(人)
オンラインチケット	なし	通年	59,347	14,056
コンビニ等 (ポストカード付入園券抜粋)	なし		3,919 (523)	89
入園利用券(ホテル等)	1割引		361	—
協賛企業向け	2割引		2,212	—
計			65,839	14,145

【よこはま動物園、金沢動物園福利厚生団体誘致状況】

名称	割引率	実施期間	よこはま(人)	金沢(人)
新聞社	特殊契約	通年	1008	336
福利厚生	2割引		13,748	2,730
提携企業会員カード	2割引		124,146	24,267
計			138,902	27,333

キ 民間事業者との連携

(ア) KDDI(株)との連携(よこはま・継続)

「one zoo 公式 YouTube チャンネル」及び「au Short」(※)の映像提供サービスにて動物園の PR を図りました。※旧「au5Gチャンネル」

(イ) 相鉄グループ(よこはま・継続)

ズーラシアの動物イラストの車両内ラッピングや駅構内でのポスター等を掲載し認知・興味向上に寄与しました。また、スタンプラリーを実施し、沿線からの集客促進につなげました。

(ウ) JR 東日本(よこはま・継続)

JR 横浜線の子育て支援エリアを走行する1車両にラッピングを実施するとともに、クイズラリーを実施しました。

(エ) ららぽーと横浜(よこはま・継続)

よこはま動物園の当日入園券を提示すると、ららぽーと横浜限定お買物・お食事券 500 円分をプレゼントする企画を実施し、合計で 2,122 名の参加がありました。

(オ) 株式会社良品計画(無印良品)(3園・継続)

株式会社良品計画(無印良品)とタイアップし、オリジナルハンカチの販売(市内 26 店舗、5,400 枚)、無印良品コレットマーレみなとみらい店で飼育員によるトークイベント等を実施しました。

(カ) 三本珈琲株式会社(金沢・継続)

市内のコーヒー会社である三本珈琲株式会社と連携し、Zoo to Wild Fes Spring にてクイズラリーを実施しました。

(キ) ENECHANGE 株式会社(よこはま、金沢・継続)

お客様用駐車場に EV 用普通充電器を2台ずつ設置し、供用を継続しています。これにより、動物園を楽しむ間に EV 等への充電ができ、利便性が向上しています。

(ク) ウエインズグループ(よこはま、継続)

ウエインズグループと山形大学との共同事業として、アカカワイノシシ等の糞をリサイクルして腐葉土として資源化する取組を継続して行ったほか、資源化された肥料を使って花植え体験を行いました。また、無料招待デーとしての入園者数は 11,912 名でした。

(ケ) 株式会社バンダイ・スピリッツ(金沢・新規)

カピバラさん20周年と園のマスコットキャラクターゆーかりん15周年を記念したコラボグッズの販売と、カピバラさんに登場する「飼育員のお兄さん」に扮した職員による特別ガイドを実施しました。

(コ) 京浜急行電鉄(金沢)

京浜急行電鉄(株)と(株)京急アドエンタープライズと連携し、子どもたちに沿線の魅力を知ってもらうイベントとして世界オカピの日イベントに参加していただきました。

(サ) 新横浜ステーション開発(3園・新規)

新横浜駅に直結している商業施設キュービックプラザ新横浜での画像や動画を組み合わせたパネルの展示や、夏季と秋季にお面づくりのワークショップを実施しました。

このほか、新横浜駅コンコースの大型ビジョンにて3園の動画を月替わりで放映しました。

③動物園により深くかかわる利用者を増やす取組

動物園が果たすべき役割(種の保存、調査研究、環境教育、レクリエーション)を多くの方々に知っていただき、ご支援・ご協力いただけるよう取り組みました。

※寄付を活用した取組の実績は、P.24 参照

ア 潜在的寄付者を増やす取組

動物園の活動を多くの方々に知ってもらうため、SNS での情報発信、キャンペーン等の実施により認知度の向上を図り、フォロワーの獲得に努めました。また、よこはま動物園・金沢動物園共通年間パスポートのデザインを更新し、リピーターの拡大に努めました。

イ 新規の寄付者を増やす取組

保全意識向上を図るプログラムの実施や、横浜市動物園友の会の運営、ボランティア活動支援(P.32)を行うことで、動物園への理解者を増やす取組のほか、生物多様性保全に向けた寄付に関するご案内用リーフレットや HP に専用ページを設けました。

野毛山動物園では、園の管理運営の向上に活用するため園内にレッサーパンダ型募金箱やカプセルトイの設置、返礼品(一口5万円でミニレッサーパンダフィギュア)付き寄付等の取り組みを実施したことで、17,252,429 円(前年度比 67%増)の寄付をいただくことができました。寄付金は、チンパンジー展示場の櫓改修に活用しました。

また、令和7年度は、よこはま動物園におけるホッキョクグマの親子公開に合わせて、ホッキョクグマの写真をあしらったアニマルペアレントの案内用紙を配布したほか、先行入園ができるホッキョクグマの観覧イベントも寄付付き有料イベントとして実施しました(8月～9月に合計6回、寄付実績 890,000 円)。

【横浜市動物園友の会 会員件数】

会員種別	会員件数	
	令和7年度	前年度比
家族会員	158	+3
大人会員	258	-9
小人会員	5	-3
賛助会員	2	-5
計	423	-14

ウ リポートしてくれる寄付者を増やす取組

動物への愛着と動物園への理解を深められるようアニマルペアレント制度を運用しています。各動物園ホームページからクレジットカードで寄付できるようにしており、安定的にご寄付いただいています。会員の方向けには、ニュースレターの送付、動物園についての理解を深めるための「感謝の日」を実施しました。

【アニマルペアレント寄付実績】

園名	金額(前年度比)
よこはま	4,174,869 円(100.2%)
野毛山	2,193,330 円(87.1%)
金沢	1,903,330 円(83.1%)
計	8,271,529 円(92.1%)

【アニマルペアレント感謝の日開催実績】

園名	実施日	内容	参加人数
よこはま	9月 28 日	近況スライドショーとバックヤードツアーを実施	90 名
	3月 8 日	近況スライドショーとバックヤードツアーを実施	71 名
野毛山	10 月 13 日	「どうぶつたちのハンモックとおもちゃを作ろう」を実施。廃材消防ホース使用	5 名
	2月 11 日	「もっと知ろう爬虫類館のカメたち」カメに特化した座学とガイドツアーを実施	20 名
金沢	9月 27 日	ユーラシア区40周年ガイドツアーを実施	19 名
	2月 22 日	カピバラ「飾り湯」プレゼントを実施	20 名

【アニマルペアレント寄付 主な活用事例】

園名	実施内容	効果
よこはま	アムールヒョウ展示場渡り木の更新等	老朽化した渡り木等を交換し、より立体的な動きができるよう工夫することにより、動物本来の行動の発現を促しました。
野毛山	動物用ハンモック購入 動物用遊具購入 動物用爪とぎ購入 サーモグラフィーカメラ購入 監視カメラセット購入	動物用ハンモック・遊具・爪とぎを購入し、チンパンジーやマヌルネコのエンリッチメント拡充を図りました。また、サーモグラフィーカメラ・監視カメラセットを購入し、希少カメ類飼育における飼育環境改善に活用しました。
金沢	インドゾウ舎等床材購入及び キリン舎サブパドックの改修	ゾウ等の動物の床材としておが粉や砂等の購入や、キリン舎サブパドックの扉をトレーニングがしやすい形に改修する工事を実施し、アニマルウェルフェア向上とハズバンダリートレーニングの充実に役立ちました。

エ 企業からの支援を増やす取組

協賛企業各社からは約 2,898 万円の継続寄付をいただきました。また、新たにウエインズトヨタ神奈川(株)より動物たちの飼育環境改善としてウエインズまちいちファンドから

の寄付をいただいたほか、企業の社会貢献活動として、日本ヒルティ(株)から電動工具類、三菱 UFJ 銀行二俣川支店より動物の飼料となる樹木等の寄付をいただきました。

【令和7年度企業協賛実績】

園名	協賛会社名
よこはま	① ウエインズグループ
	② 三井住友海上あいおい生命(株)
	③ コカ・コーラボトラーズジャパン(株)
	④ サントリービバレッジソリューション(株)
	⑤ 高梨乳業(株)
	⑥ KDDI(株)
	⑦ ジブラルタ生命保険(株)

オ 大口寄付者(遺贈を含む)を増やす取組

寄付者の方々との関係性を深められるよう、丁寧なコミュニケーションを図り、個人の方々より寄付をいただきました。よこはま動物園ではアムールヒョウ展示場の止まり木設置や、金沢動物園では移動可能な動物用冷暖房器具の購入などに活用しました。

(3)利用者に関わりを深めてもらう取組

利用者アンケートや広聴制度の運用を通じ、利用者の分析やニーズの把握を行い、部署間・関係事業者等との定例会議において情報共有・検討を行うことにより管理の質・来園者サービスの向上に取り組みました。また、職員のスキル向上のため、引き続きマーケティング研修を実施しました。

①利用者調査アンケート

3園において、11月1日～11月29日に二次元バーコードを使用した利用者調査アンケートを実施し、引き続き満足度の高い結果を得られました。

【利用者調査アンケート結果による全体的な満足度】

園名	回答数	全体的な満足度について「とても満足」「やや満足」と回答された割合(前年度)
よこはま	617 件	96.6% (97.3%)
野毛山	487 件	98.0% (96.3%)
金沢	408 件	97.0% (97.1%)

②お客様のご意見・ご要望を伺う制度

広聴は1年間でよこはま動物園では231件、野毛山動物園では15件、金沢動物園では13件、3動物園に対し5件のご意見・ご要望等が寄せられ、回答が必要なものに対してはすべて2週間以内に回答しました。なお、令和7年度はよこはま動物園において、ヤブイヌのペアリング及びホッキョクグマの死亡について多くのご意見が寄せられました。

【広聴件数(ホームページ等による要望等)】

園名	件数	内 訳				
		クレーム	ご意見・ ご要望	質問・ 問合せ	お礼・ 励まし	その他
よこはま	231	3	222	0	6	0
野毛山	15	0	14	0	1	0
金沢	13	1	12	0	0	0
3 動物園	5	0	5	0	0	0
計	264	4	253	0	7	0

③モニタリングによる自己評価とその改善

年2回横浜市職員によるモニタリングを行い、各園及び協会本部で仕様書に定められたことの進捗を自己評価するとともに、意見交換を行うことで、GW 期間中の渋滞対策や労災事故の再発防止策など業務改善につなげています。

ア 来園者サービス

よこはま動物園では、引き続き電子チケットの販売や公式ホームページにバナーを設置することで、チケット購入時の煩雑さを軽減し、顧客満足度の向上に努め、入園者増と入園時の混雑緩和に繋げました。野毛山動物園では公式 HP の先頭に「はじめてのどうぶつえん」のリンクを設け、親子づれに役立つ情報発信を強化し利便性を向上させたほか、リニューアルしたなかよし休憩棟への絵本の設置等を行い来園者サービスの向上に努めました。

イ 動物飼育管理

3園共に老齢個体の飼育を含む動物福祉の向上や繁殖に積極的に取り組みました。環境エンリッチメントやハズバンダリートレーニングでは、計画・評価シートを活用しました。各園の飼育繁殖技術や動物事故事例などについては研究会や研修により情報共有をしたほか、令和6年度安全研修の内容の見直しや研修回数の増加及び、よこはま動物園の大型危険獣5種の獣舎において、安全確認のための監視カメラの設置と扉表示板の設置を行い今年度もこれらに継続して取り組んでいます。アニマルペアレント等の寄付金を使用しながら展示場の修繕等を適宜行い、飼育環境改善に努めました。獣医師についても3園で情報交換を行ったほか、論文等で知見を広げ日々の獣医業務に活用しました。

ウ 教育普及

例年実施している「国際〇〇の日」や「世界〇〇の日」を3動物園で共通している動物種においては、同日にイベントを企画し SNS 等を通じて連携を図りました(キリン、オカピ、クロサイ等)。また、生息地で活動している外部団体との連携も行い、生息環境や現状の情報共有を通じて環境教育に取り組み、物販などの収益は、生息域内での保全活動をしている団体へ寄付しました(レッサーパンダやキリン、ゾウ等)。その他、有料大人向けプログラムとして、3動物園での連携や他園と連携した連続講座を実施し、参加者に各園への愛着を深めていただく機会を設けました。

エ 人材育成

飼育管理における安全対策研修を4回実施し、安全意識の向上に努めました。

オ 広報

動物園に関心がないターゲット層へのアプローチ方法としてPR TIMES 等、インターネット媒体への情報発信を増やし、効果的に広報を行いました。SNS を活用した広報としてこれまで1 つだった Instagram のアカウントを3園に分け、各園の特色を活かした運用ができるように改善しました。

④各種会議での情報共有

警備、案内、飲食物販等お客様と接する機会の多い委託業者との定例打合せを通じ、課題改善、円滑な管理運営に努めました。

【委託業者と取り組んだ改善の例】

園名	内容
よこはま	ホッキョクグマの赤ちゃんの公開に合わせて、親子の画像を使ったクッションやステッカーシート、限定キーホルダー、くまさんアイスなどの新商品・新メニューを販売し、園内イベントと連携した取組を実施することで、イベント効果を高めました。
野毛山	園内ショップでオリジナル商品を販売して欲しいとの要望を受け、展示動物の写真を使用したアクリルキーホルダーなどのグッズを販売しました。また、マヌルネコの展示に合わせて、多種多様なマヌルネコグッズの販売を開始しました。
金沢	ショップで販売する動物の写真を使用したオリジナルグッズとカフェで販売するメニューの見直しについて、職員と委託事業者との間で検討を重ね、販売を開始しました。

⑤ お客様からの意見、要望も取り入れた来園者サービス向上への取組

園名	サービス向上への取組	効果
よこはま	・スマホ用バッテリーレンタル機 (Charge SPOT) の継続設置 ・ホッキョクグマ親子の公開方法の工夫	・お客様から要望が多かった、スマホ用バッテリーレンタル機 (Charge SPOT) の設置 (園内6箇所) を継続し、お客様の利便性向上に努めました。 ・ホッキョクグマ親子の展示において通行方向の整理や観覧場所の利用時間制限などを実施し混雑緩和に努めました。
野毛山	カプセルトイレ機を使用した募金の拡充	来園者が気軽に楽しみながら動物園に寄付できるように昨年度開始したカプセルトイレ機を使用した募金を、より多くの方にご利用いただけたよう、缶バッジだけではなく、ポーチ、アクリルキーホルダー、シールなど様々なグッズを製作しました。この取組は目覚ましい効果を上げ、寄付額の増加に貢献しました。
金沢	・コアラ展示場における混雑箇所への音声設置の新設	・人感センサー付き音声案内を設置し、譲り合々の観覧を促し、混雑緩和に努めました。

	・レンタル車いすメンテナンス要望に関する対応	・車いすに油を差して音が鳴らないようにするなど、気持ちよくご利用いただけるようにメンテナンスを実施しました。
--	------------------------	--

(4)動物園マネジメントの取組

①地球環境保全等に寄与する SDGsの取組

当団体では令和3年4月に「SDGs達成に向けた取組 2021-2030」を策定し、12月には、横浜市のSDGs認証制度”Y-SDGs”において、「上位＝Superior」認証を取得しました。令和4年11月には、その後の取組実績により、「最上位＝Supreme」認証にランクアップしました。経済・社会・環境の三側面の調和や統合的な向上をめざしたSDGsの取組は以下とおりです。

ア 環境分野

取組	主な取組
生物多様性保全への貢献	動物の飼育管理 P.34～48 参照
環境負荷の低減に向けた取組	動物糞有効活用事業、コーヒー滓(かす)の再利用等

イ 社会分野

取組	主な取組
多様な教育普及	学校教育の取組 P.32～34、保全意識向上を図るプログラム P.42～46 参照
市民参加と市民協働による地域の活性化	園外 PR・地域連携活動 P.18～21、ボランティア活動 P.32 参照
誰も安全・安心・快適に利用できる施設の管理運営	防災訓練・動物逃亡捕獲訓練 P.10～12、施設等の維持管理 P.49～51 参照

ウ 経済分野

取組	主な取組
地域事業者との連携による地域経済の活性化	飼料の市内業者等からの調達等

エ ガバナンス

取組	主な取組
多様な主体とのパートナーシップによる事業推進	公民連携事業 P.22～23、ボランティア活動 P.32 参照

②自主事業や経営改善等の取組

ア 季節ごとに3動物園を楽しめる主な取組

イベント名	概要	実施日	参加人数
よこはま夜の動物園	園内をライトアップして夜間開園し、関連イベントを実施しました。	8月土日祝	(よ)64,121名 (野)17,793名

			(金) 13,375 名
ドリームナイト・アット・ザ・ゾー	社会貢献活動として、障がいのある子どもたちとその家族を夜の動物園へ招待するイベントを実施しました。	9月6日	(よ)2,505 名 (野)119 名 (金)638 名
動物感謝祭	慰霊碑がある野毛山動物園で、3園の動物の誕生、長寿、死亡に関するパネル展等を実施しました。	9月2日～9月 28 日	—
動物画コンクール	3園で展示している動物を題材にした絵画の募集と展示を行いました。	募集:9月1日～9月 30 日 3園巡回展示:10月 25 日～11 月 30 日	194 名(応募者)
クリスマスイベント	クリスマスの雰囲気を楽しめるよう、クリスマス装飾や関連イベントを実施しました。	11 月 27 日～12 月 25 日	—
オリジナルポスターカレンダープレゼント	3園で異なる絵柄で3枚並べると1つの絵になるのカレンダーを各日先着 100 名にプレゼントしました。	12 月の土日、1月2日、3日	3,000 名
お正月イベント	お正月飾り等で園内を装飾しました。	1月2日～1月8日	—

イ 各動物園の特徴、地域特性を生かした主な取組

(ア)よこはま

イベント名	概要	実施日	参加人数
ズーラシアガーデンパーティー	テーマに合わせた園内装飾と飲食ブースを設置したイベントを実施しました。	(3月 22 日)～4月 20 日の土日	入園者数: 38,330 名
ズーラシアンブラス公演	ズーラシアンブラスによる公演を行いました。	5月 31 日	200 名
ズーラシアフェス！～アフリカの旅～	アフリカをテーマにハンドメイド作家による雑貨販売やワークショップ、パネル展等を実施しました。今年度は、キッチンカーやアフリカ音楽イベント等も実施しました。	10 月1日～10 月 31 日 土日祝	入園者数: 50,468 名
はみがきうさぎの「カムカムどうぶつえんフェスタ」	NPO 法人「おくちのけんこう」とのコラボ企画。動物の歯や食性に関するクイズスタンプラリーやダンスショーを実施しました。	11 月 15、16 日	入園者数: 17,206 名
旭ズーラシア駅伝	旭区駅伝競走大会実行委員会と共催で園内にて駅伝大会を実施しました。	1月 24 日	1,530 名

ウエインズデー	協賛企業のウエインズトヨタ神奈川との共催で無料招待企画を実施しました。クイズラリー等も行いました。	1月 31 日	入園者数： 11,912 名
---------	---	---------	-------------------

(イ)野毛山

イベント名	概要	実施日	参加人数
オリジナルこいのぼり展示	レッサーパンダ、ペンギン等の鯉のぼりを入園口に掲出しました。	4月 14 日～5月8日	—
いけばなライブパフォーマンス at しろくまの家	「古流松藤会」「一葉式いけばな」二流派の家元とコラボし、しろくまの家でいけばなパフォーマンスを実施。また、なかよし休憩所にていけばなワークショップを実施しました。	6月6日～6月8日	—
集まれ！どんぐりひろい隊	野生のツキノワグマの生態を学んだ後、ボランティアの方々に拾っていただいたどんぐりをツキノワグマに給餌しながらのガイドを実施しました。	11 月8日	200 名
西区スタンプラリー	西区の保健活動推進委員会を中心に動物をテーマにしたスタンプラリーをしながら、ウォーキングする企画を実施しました。	10 月6日	—
ツキノワグマ誕生日会	ツキノワグマの「サンペイ」と「コマチ」の誕生日会を実施しました。	1月2日、3日	240 名
キリン「そら」誕生日会	キリンの「そら」の誕生日会を実施しました。	2月 14 日	200 名

(ウ)金沢

イベント名	概要	実施日	参加人数
横浜ホンチの実演会 〜クモのおすもう	横浜ホンチ保存会のご協力により、横浜市では地域無形民俗文化財に登録されているネコハエトリを使用したクモ相撲の実演会を開催しました。	4月 20 日	55 名
「ボン」「ヨーコ」来園 40 周年写真展とお祝い横断幕	インドゾウ「ボン」と「ヨーコ」の来園 40 周年を記念した写真展と横断幕の掲出を行いました。	4月 26 日～3月 29 日	—
Zoo to Wild Fes (Autumn、spring)	春は「人と自然の関わり」、秋は「楽しく SDGzoo®」をテーマに、市内の環境保全団体などと協働	11 月1日～3日、3月 20 日、21 日	入園者数： 13,802 名

	して、体験型のイベントや展示ブースを出展しました。		
「Save the animal～あなたの知らない絶滅危惧種」	絶滅危惧種をテーマにしたパネル展を実施。	4月 26 日～5月6日	入園者数： 27,784 名
マスコットキャラクター「金沢ゆーかりん」グリーティング	GW、お正月、開園記念日に園のマスコットキャラクター「金沢ゆーかりん」によるグリーティングと写真撮影会を実施しました。	4月 27 日、29 日、5月 3～6 日、1月2日～4 日、3月 14 日、15 日	入園者数： 1,290 名
ナイトかなざわプロジェクションマッピング	動物園入口付近のトンネルの地形を活かし、映像作家による金沢オリジナルプロジェクションマッピングを投影しました。	8月 土日祝	入園者数： 13,375 名
Zoo to Wild セミナー「バーラルと高山帯で暮らす生き物」	野生バーラルの生息地で研究を行っている講師による講演と、飼育下個体の観察会を実施しました。	11 月 29 日	35 名

ウ ふれあい体験

各動物園で感染症、アニマルウェルフェアに配慮しながらふれあい体験を実施しました。

園名	場所	プログラム	実施内容
よこほま	ぱかぱか広場	ひき馬体験	スタッフが引く馬に乗る体験を実施しました。
		自然体験林でひき馬体験	自然体験林をスタッフが引く馬に乗って散策する体験を実施しました。
		馬の飼育員になってみよう	馬房の清掃やブラシがけ等の飼育体験を実施しました。
		おやつ体験	馬に餌をあげる体験を非接触の方法で実施しました。
		モルモット・ネズミのおうち	事前予約制により参加人数とふれあう動物を限定し、動物福祉に配慮しながらのふれあいを実施しました。 令和8年3月 15 日をもって事業を終了しました。
野毛山	なかよし広場	モルモット、ハツカネズミ等とのふれあい	リニューアルしたなかよし広場でのふれあいプログラムを再開しました。また、夏季には熱中症対策として新休憩所(なかよし休憩所)内で同プログラムを実施しました。
金沢	ほのぼの広場	ヤギさんのおやつタイム	開園日毎日、ヤギとヒツジの餌やり体験を実施しました。

エ ボランティア活動

ボランティア活動も活発に行われました。

(活動人数:よこはま4団体 141 人、野毛山4団体 86 人、金沢5団体 115 人)

園名	主な取組
よこはま	動物の展示場前での通常ガイドやナイトズーラシアでのガイドのほか、工作や紙芝居等のワークショップを実施しました(ズーラシアサポーターズ 38 名)。また、ドリームナイト・アット・ザ・ズーにおいて案内補助等を行いました。(ジブラルタ生命保険株式会社 43 名、旭陵高校1名) 園内の花苗植えつけやチンパンジーのハンモックづくり等を実施しました。(三井住友海上あいおい生命保険株式会社 51 名) 新たに三菱 UFJ 銀行二俣川店社員による園内に飼料となる樹木の植樹や自然体験林協の水路の清掃作業を行いました。(参加者 29 名)
野毛山	通常ガイドのほか、「ナイトのげやま」や「ドリームナイト・アット・ザ・ズー」でのガイドを行いました。動物たちの SOS 展では職員と協力し、スタンプラリーを実施しました。世界キリンの日、国際レッサーパンダデーにおいて、募金活動を実施しました。「集まれどんぐりひろい隊」では参加者の安全確保と里山の普及を行いました。(Zoo のげやま探検隊 17 名) 「動物たちの SOS 展」でのガイド、パネルの制作、職員と共同で行うバードウォッチング春・秋などを実施し、来園者へ身近な動物について普及しました。また、傷病鳥獣保護事業の補助を行いました。(野生動物リハビリテーター37 名) 野毛山公園の清掃を行いました。(障がい者グループホームのガイヤイールド5名)(一本松小学校 23 名)
金沢	毎週日曜日ツノ・キバガイドを実施しました。(ZOO ボランティア 15 名) 毎月第2第4日曜日 ZOO 研ガイドを実施しました(帝京科学大学動物園研究部ボランティア 20 名) ドリームナイト・アット・ザ・ズーにおいては、オカピクイズ、かげ絵あそび、バルーンアートプレゼント、ツノ・キバガイドを実施しました。(帝京科学大学動物園研究部9 名、日本大学生物資源科学部 19 名、ZOO ボランティア7名) 植物区エリアでの樹林地・竹林等の管理補助を実施しました。(かなざわ森沢山の会 50 名) また、傷病鳥獣保護事業の補助を行いました。(野生動物リハビリテーター8名)

オ 経営改善の取組

事業資金の調達では、新たに金沢動物園で行う保全活動に資する MUFG 生物多様性保全研究助成金や JAC 環境動物保護財団からの助成金を獲得したほか、アニマルペアレント等による外部資金の獲得に取り組みました(P.23～25 参照)。また、横浜市健康福祉局による認証制度「横浜健康経営認証」の取得団体として、健康講習会の実施など職員の健康保持・増進に積極的に取り組みました。(P.9参照)

(5) 学校教育プログラム

よこはまは「世界」、野毛山は「身近」、金沢は「自然」といった各園の特徴を活かした教育プログラムを企画、実施しました。引き続き学校団体からの要望に応じオンラインでの対応 DVD の貸出しも継続しました。※それぞれのプログラムの実績については、参考資料 P.58～60 参照

①学校教育向けプログラム(3園)

ア 来園プログラム

22 種のプログラムを実施し、3園で 19,415 名(前年度比+989 名)の参加がありました。

【主な来園プログラムの効果】

園名	実施内容	効果
よこはま 7,027 名	レッツスタディ「どうぶつ園のじゅうい」で使用するスライドを現状の獣医の業務内容に更新しました。	アンケート結果からは、学校で学んだことをより深く学べたという意見が複数あり、理解度が促進されたことが読み取れました。
野毛山 1,997 名	プログラムで使用するパネルに動物の写真を増量し、派生物に触れる機会を設けました。雨天の場合、中止や縮小となることも多かったが、新休憩棟やふれあい施設の一角でプログラムを行えるよう改善しました。多くの来園者に体験してもらうことができました。	参加者の反応も良く、発言も目立つようになりました。屋内でプログラムを行えるようにしたことから、多くの参加者に体験していただくことができました。
金沢 10,391 名	どうぶつえんレクチャー「虫はかせになろう」実施時に、金沢自然公園内に生息する身近な昆虫の標本を追加、展示しました。	標本教材を増やすことで、昆虫生体が展示できない秋冬期にも体感的な学習を引き出すことができました。

イ 出張プログラム

4種のプログラムを実施し、3園で 8,615 名(前年度比-92 名)の参加がありました。

【主な出張プログラムの効果】

園名	実施内容	効果
よこはま 2,449 名	「どうぶつの赤ちゃん」「飼育員の一日」など、出張に行く職員自らの担当動物にアレンジした内容で実施しました。	出張に行く職員の担当動物を含めることで、より分かりやすく、深い内容となったことが見受けられました。
野毛山 3,399 名	動物の赤ちゃんにおいて、教科書とスライド登場する動物の順番をあわせ、プログラムを事前学習とするか事後学習とするかで教員との打合せを重視しました。	教員からは復習の面でとても好評をいただきました。
金沢 2,767 名	横浜市内立菊名小学校6年を対象に、環境教育出前講座「動物の体の不思議」の内容を改善して実施しました。	「動物の体の不思議」で使用する動物の腸の長さ比べロープを新調し、子どもたちが動物の形態の違いをより体感できる指導をすることができました。

②先生方と内容を相談しながら作り上げるプログラム

学校等と連携し、3園で 2,622 名(前年度比-569 名)の参加がありました。

【主な連携授業への効果】

園名	実施内容	効果
よこはま 435 名	近隣の横浜市立川井小学校と動物の形態と役割について、事前学習と事後学習を組み合わせたプログラムを実施しました。また、神奈川県立横浜旭陵高校とは、講義や観察、園内発表を組み合わせたプログラムを実施しました。	事前と事後学習によって、より動物種ごとの特性の理解と環境とのかかわりを捉えて考えてもらうことができました(川井小)。また、講義や観察学習などで自らが学んだことを発表することで、動物園や野生動物への理解を深めてもらうことができました(旭陵高校)。
野毛山 380 名	神奈川大学附属中学校との連携では、「生物多様性に関する社会問題」の授業の中で、外来生物と在来生物、どちらも人に危害を加えているとしたら何故か考えました。	神奈川大学附属中学校では4月から教員と打ち合わせを重ね、問題視されるクマ問題について、考える方向性の多様化や、生態系についての学びを広げることができました。
金沢 1,807 名	今年度新規に実施した連携授業「リアル謎解きゲーム」の対応で、横浜市立西金沢義務教育学校小学部5年生が総合的な学習の時間に作成した謎解きゲームを、園内で来園者対象に実際に実施する学習プログラムを協働で実践しました。	子どもたち自身が授業で企画、作成した謎解きゲームを実際に園内で来園者を対象に実施することで、動物や動物園に対する知識の向上、子どもたち同士や動物園職員との協働体験、子どもたちと来園者との交流など、多様な学習を展開することができました。

③小動物ふれあいプログラム(野毛山)

野毛山動物園の小動物ふれあいプログラムは、6,903 名(前年度はリニューアル先行工事のため実施なし)の参加がありました。

4 動物の飼育管理

(1)飼育現場での取組

世界の野生動物の現状への理解を深めてもらえるよう、動物の生態や健康維持、動物福祉(アニマルウェルフェア)に配慮した飼育管理に取り組むほか、飼育動物の記録や飼料の調達、給餌等を行いました。飼料となる青草、ユーカリなどの栽培・生産については、市内生産農家等に依頼し、安定的な供給の確保を図るとともに、地域の活性化に取り組みました。

①動物福祉向上のための取組

3園で飼育する動物に対して、科学的な根拠に基づき、3園における良好な動物福祉を高める取組を推進しました。また、動物福祉向上のため、アニマルウェルフェア委員会を設置し、各園にて自己評価を行う取組を開始した他、よこはま動物園と金沢動物園では、日動水のアニマルウェルフェア評価員による評価を経て、日動水アニマルウェルフェア基準に準拠している証明を受けました。

ア エンリッチメントの取組

飼育動物の多様な行動を引き出す飼育環境改善(エンリッチメント)の取組にあたっては、計画シートを作成し、効果検証を行い、動物福祉の向上に努めました。

【主なエンリッチメントの取組】

園名	取組概要	効果
よこはま	チベットモンキー4頭導入に伴う環境整備	老齢個体の死亡により、1頭での飼育となっていたチベットモンキーを他園より2頭導入し(来年度更に2頭導入予定)、本来の動物の生態に近い群れ飼育にすることで、動物福祉向上に努めました。また、4頭導入に伴い、餌台や止まり木の設置など環境整備を行い、動物本来の行動を再現できるようになりました。
野毛山	レッサーパンダ・ツキノワグマ・フサオマキザル等の展示場及び寝室へ、止まり木や遊具等の更なる設置	展示場や寝室が狭いながらも空間利用できる範囲が拡充した事に伴い、行動範囲が広がり、動物本来の行動を誘引することが出来ました。
金沢	インドゾウの自動給餌器の運用方法の工夫	ゾウの常同行動削減と採食時間増加を目的として、展示場に設置した給餌器の運用方法を工夫し、行動量の調査も実施しました。

イ ハズバンダリートレーニング(受診動作訓練)の取組

無麻酔での採血等、動物福祉に配慮した健康管理(ハズバンダリートレーニング)の取組にあたっては、計画シートの作成と効果検証を行い、良好な動物福祉の実現に努めました。

【主なトレーニングの取組】

園名	取組概要	効果
よこはま	シシオザルに対し、無保定下で体重測定ができるようトレーニングを行いました。	定期的に体重測定をすることが可能となり、個体に負担をかけずに日々の健康チェックができることで、餌の調整等の健康管理に役立てることができました。
野毛山	グレビーシマウマでは採血を目的としたトレーニング、チンパンジーでは複数人体制でのトレーニングや麻酔注射を目的としたトレーニングを実施しました。	グレビーシマウマでは繁殖個体で初採血に成功しました。チンパンジーでは複数人体制でのトレーニングが可能になったほか、麻酔注射を目的としたトレーニングでは全頭の肩に先端を潰した注射針の押し当てが出来るようになりました。
金沢	ゾウの準間接飼育用に改修した柵を介した状態でも体のケアが行えるように、各種トレーニングを実施しました。	柵越しでの号令で雌雄共に安定して採血ができるようになったほか、患部の治療も実施できるようになりました。

ウ 老齢個体に配慮した飼育管理の取組

老齢個体の飼育管理については、動物の QOL (Quality of life: 生活の質、その動物種らしく、肉体的・精神的・社会的な日常生活を含めたものの充実度や満足感) の向上を第一に考え取り組みました。

【主な老齢個体に配慮した取組】

園名	取組概要
よこはま	足腰が衰弱してきた高齢のリカオンに対し状態に合わせて適宜、藁やスノコ、マットなどを設置しました。

	レッサーパンダの老齢個体に口元や顔、足裏、大腿部など腫瘤ができてしまったため、様子を見ながら麻酔下での除去治療や餌を食べやすくする工夫を施しました。また見えにくくなった目でも快適に暮らせるよう獣舎内の段差の解消などを改善しました。
野毛山	野毛山動物園リニューアル計画に基づく老齡ツキノワグマの搬出においては、個体の身体的負担を考慮し、輸送檻へ自ら入るトレーニングを実施したことで、無麻酔での安全な移動ができました。
金沢	体力低下により群れで過ごせなくなった雄のオオツノヒツジにおいて、個別に飼育を実施し、足腰の老化に伴うケアなど、きめ細かな飼育管理を行いました。

②飼育現場での努力や意識向上に資する取組

ア 動物舎の維持管理

動物舎及び展示場の管理は、日常的に施設の安全点検を行い、小破修繕を適宜実施しました。また、施設の長寿命化計画に準拠し、共通のフォーマットを用いて統一基準で管理し、市に報告することで大規模修繕計画にも反映させました。

【主な展示の魅力向上】

園名	概要	効果
よこはま	オカピ展示場の木柵の更新	園路の掲示物の更新および展示場の木柵の改修を行い、園路から動物が観察しやすいよう工夫しました。
	ツキノワグマの展示場および獣舎の改修	野毛山動物園リニューアルに伴い移動してくる個体も含め、動物福祉およびエンリッチメントに配慮し、夏の日よけ設置および止まり木の更新をしました。
野毛山	マヌルネコの新規展示	空き小間となっていた猛獣舎の一画をマヌルネコ飼育用に改修し、また、巣箱・高所休憩所・砂浴び場・隠れ場など生態に即した展示場の自家整備を行い、マヌルネコの新規展示を開始しました。
	ミナミコアリクイの屋外展示場改修	逸走防止を目的にコアリクイ屋外展示場をケージ型に改修するとともに、生木の止まり木を多数設置することで、種本来の樹上行動が見られるようになりました。
金沢	アマミトゲネズミの昼夜逆転展示	アマミトゲネズミの展示場を暗室化して昼夜逆転させ、開園時間中に活動している姿を見ていただけるように工夫しました。
	オカピの餌設置個所の工夫	来園者に採食行動を間近で見えていただけるように、園路に近い場所に枝葉などの餌を設置しました。

イ 動物園水族館事業、博物館事業への貢献

世界動物園水族館協会(WAZA)、日動水、神奈川県博物館協会の加盟団体として、当該団体の役割の一翼を担うことで、国内外における動物園水族館事業、博物館事業の推進に貢献しました。また、引き続きよこはま動物園長が日動水の会長に就任している

ほか、日動水が主催する第24回種保存会議がよこはま動物園を開催園として実施し、国内外の動物園、水族館関係者により活発な意見交換が行われました。

【各団体での役割一覧】

団体	役割	
WAZA	倫理動物福祉委員会 委員	
日動水	会長	
	総務委員会	倫理福祉部員
	教育普及委員会	普及啓発部員
	生物多様性委員会	類別事業調整者、種別計画管理者等、専門技術員等
神奈川県博物館協会	理事	
	自然科学部会	幹事

ウ SDGsへの貢献

環境負荷の低減に向けた取組として、動物の飼育管理を通じたSDGsへの貢献を進めました。

【動物の飼育管理を通じたSDGsへの取組】

園名	取組概要
3動物園	B級品の青果や園内で発生した剪定枝を飼料に活用しました。
よこはま	園外の公園や市街地で伐採された枝を寄付いただき、動物の餌に活用しました。また、新たに市内ホテルでのフードロス対策に協力し、特別ガイドでの餌に活用しました。
野毛山	園内のSDGsのイベントと連動して野毛山公園のどんぐり拾いをするボランティアを募集し、拾ったどんぐりをツキノワグマへの餌として活用すると共に、展示場でガイドやクイズを行い、ツキノワグマの現状を啓蒙・普及しました。
金沢	・コーヒー滓(かす)をゾウなどの床材に利用しました。 ・ゾウ糞及びコーヒー滓(かす)の床材をたい肥化し、園内、市内公園ユーカリ圃場、木の葉搬入業者が管理する苗木圃場で活用しました。 ・助成金で薪ボイラーを設置し、園内林地整備で発生する木材を薪として有効活用できるように循環の仕組みを整えました。

エ 職員の努力

動物園の役割を果たすため、職員一人一人が各種の工夫・努力を行いました。

【職員が取り組んだ主な努力】

園名	取組概要
よこはま	・各動物種の「世界○○の日」等に合わせ、関心を深めていただくためのイベントを企画・実施し、チーター、キリン、オカピ等では、生息地の保全への貢献につながるような工夫に取り組みました。 ・飼育作業における安全対策として「閉扉・施錠時の指差喚呼」「動物の小間移動の際の無線連絡」等のルールについて徹底し励行しました。
野毛山	・飼育作業における安全対策として、危険獣(チンパンジー・ツキノワグマ)での放飼

	収容及び小間移動時のダブルチェック体制を構築しました。 ・野毛山動物園リニューアル計画に基づき他園館へ移動することになった動物種において、事前の輸送箱馴致や当日搬出作業の様子を SNS で小まめに情報発信するとともに、園内では「思いで写真展」や「今までありがとう特別ガイド」を企画実施しました。 ・世界キリンの日、国際レッサーパンダデー等に合わせて、当該種の生息域内で保全活動する団体と連携し、現状を普及するガイドや募金を実施、集まった募金を保全団体に寄付し、生息域内活動への貢献を継続しています。
金沢	・園内の野生動植物や林地環境の保全を行うとともに、それらの普及活動や体験イベント等のほか社内外の研修会での講師活動などを実施しました。 ・インドゾウの準間接飼育移行において、今年度は1度も直接飼育をせずに管理することができました。 ・インドゾウが起立困難になった際に、担当班を中心に安全確保に気をつけつつ臨機応変な対応を実施し、ゾウを吊り上げる形での補助を実施し、ゾウを起立させ危機的状況から脱出させることができました。

③計画的な繁殖管理

動物飼育計画の立案にあたっては、動物の生態を踏まえ、当団体に蓄積された記録を参照した上で計画を立案しました。また、重点保全種に指定されている種については、収集計画を含む繁殖計画を立案しました。繁殖に取り組む準備を進める種については、国内外からの情報収集等に取り組み、海外との連携強化に努めました。

【主な繁殖動物】※は重点保全種

よこはま		野毛山		金沢	
種名	点数	種名	点数	種名	点数
アカカンガルー	2	インドシナウォータードラゴン	2	オオツノヒツジ	1
オウギバト	4	ミナミコアリクイ	1	スーチョワンバーラル	1
カンムリセイラン※	2	ルリゴシボタンインコ	4	コアラ※	1
フンボルトペンギン	2	ミヤコカナヘビ※	9	アマミトゲネズミ	2
ベニハチクイ	2				
レッサーパンダ	2				
フランソワルトン※	2				
アカアシドゥクラングル※	1				
テングザル※	1				
ケープハイラックス	2				
10種 20点		4種 16点		4種 5点	

④動物の適切な管理

ア 防疫・衛生管理

飼育員と獣医師が密に連携し、疾病の予防に取り組むことを基本とし、日々の細かな観察及び専門的な知識と蓄積された経験に基づき、早期発見早期治療による健康管理を行いました。治療にあたっては、最先端の獣医療情報を提供するオンデマンドサービ

スを活用することで、日々の外科的な処置等に役立てました。防疫面でも引き続き、コロナ、高病原性鳥インフルエンザ、豚熱の感染防止に努めました。

【主な症例への対応】

園名	概要	効果
よこはま	オカピ・シマウマ・ゴールデンターキンの麻酔下削蹄	大型動物用人工呼吸器付麻酔器を活用することで、症例の少ない草食動物の麻酔処置を安全に行いました。
野毛山	アカエリマキキツネザルの栄養性カルシウム・ビタミンD低下への対応	鉄過剰症対策のため給餌内容を変更していましたが、9月下旬に採食不振・ふるえを認める個体が出たため血検を実施。カルシウム・ビタミンDの低値が判明したため投薬を行うとともに給餌内容を見直し、今までより嗜好性が高く栄養成分も適したペレットの導入や室内飼育個体への紫外線ライトの設置を行ったことで、個体の状態及び血検値を改善することができました。
金沢	コアラのシュウ酸カルシウム尿症	コアラの高齢個体1頭において尿中にシュウ酸カルシウム結晶が認められており、定期的に尿検査・血液検査・レントゲン撮影・エコー検査を実施しました。また、エコー検査については、個体へのストレス軽減を目的に無保定で行いました。

イ 3園一体運営を活かした飼育管理

よこはま動物園でのツシマヤマネコの人工授精、オカピの麻酔下での削蹄等、3動物園の獣医師の協力のもと実施し技術共有につなげました。インドゾウを飼育しているよこはま動物園と金沢動物園の2園館では、飼育管理等について定例会議を行い、情報共有に努めたほか、作業応援等で連携しました。野毛山動物園では、リニューアル先行工事が終了するまでの間、よこはま動物園で工事エリアの動物を飼育し、工事終了に合わせて野毛山動物園へ移動させました。

(2) 保全に貢献する取組

①世界的に評価されうるといえる域外保全への取組

よこはま動物園では、令和3年3月にツシマヤマネコの人工授精による繁殖に国内ではじめて成功し、ツシマヤマネコの域外保全の取組を前進させることを目的に、今年度も引き続き人工授精に挑戦しました。

②日動水等、国内外の保全に関わる機関、団体等と連携した保全への取組

当団体が多くの実績や技術を有する種については、率先して国内外の動物園関係団体との連携を図り、保全活動に努めました。また、日動水内の生物多様性委員会等の役割を担うことで、国内での保護・繁殖に積極的に携わりました。

【役割一覧】

	役割	動物種等
国内	生物多様性委員会 日動水	類別調整者
		食肉類(類別調整者)
		種別計画管理者
		ユーラシアカワウソ、インドサイ、ハウシャガメ
		個体群管理者
		オオカンガルー、ヤブイヌ、アラビアオリックス、ベアードバク、ハミルトンガメ、インドセタカガメ、ゴールデンターキン
		専門技術員
		コアラ、フランソワルトン、スマトラトラ、ツシマヤマネコ、アジアゾウ、クロサイ、グレビーシマウマ、ニホンカモシカ、コツメカワウソ、マレーバク、アマミトゲネズミ
国外	国際ワーキンググループ* 参加	ヘサキリクガメ

*主要な国際保全組織に所属するカメの専門家が結成する組織横断的なグループ。

CITES(ワシントン条約)やCBS(生物多様性保全)等に助言や勧告を行う。

また、連携協定等を締結した海外の地域団体や動物園と情報交換等を進めました。インドネシアとの保護協定に基づき、テングザルの飼育報告書の提出や繁殖のための継続的な調整を毎年実施している他、生息域外保全施設として動物福祉に配慮しながら調整を進めています。

項目	主な取組
台北市立動物園との連携	覚書に基づき、希少リクガメの動物交換契約を締結しました。
WAZA との連携	WAZA の会員として、年次総会(コロンビア動物園)へ参加して情報共有などに努めたほか、WAZA の管理する保全計画である種管理計画に協力して、野生動物保全に努めました。
第6回国際オカピ会議への参加	第6回国際オカピ会議に出席し、情報収集を行ったほか、新たな個体導入を目指し、日本国内の飼育状況や課題の共有を行いました。

③域内保全と連携した取組

日動水が環境省と締結した「生物多様性保全の推進に関する基本協定書」に基づき、ツシマヤマネコ、ミヤコカナヘビ、トゲネズミ類、ニホンライチョウの飼育・繁殖技術の確立を目指し、動物園での保全活動を行いました。

【域内保全と連携した主な取組】

項目	動物種	主な取組
環境省の保護増殖事業への協力	ツシマヤマネコ (よこはま)	人工繁殖に取り組むとともに、繁殖生理に関するデータ収集を行いました。
	ニホンライチョウ 人工授精(よこはま)、 展示(金沢)	繁殖センターではライチョウ保護増殖事業の人工授精関係の研究に貢献しました。金沢動物園へ新たな個体を他園より導入し、展示による教育普及を実施しました。

	ミヤコカナヘビ (野毛山)	飼育下繁殖技術の向上及び獣医学的・科学的知見の集積へ協力しました。
トゲネズミ類 生息域外保全事業への協力	アマミトゲネズミ (金沢)	飼育下繁殖技術確立に取り組むとともに、展示を実施し、教育普及に取り組みました。
身近な野生動物 の保全	ミゾゴイ(野毛山、金沢)	繁殖センターと連携し、野生復帰を想定した技術確立のため試験放鳥を行いました(金沢)。展示を通じて教育普及を行いました(野毛山)。
	ミヤコタナゴ(野毛山、金沢)	横浜市教育委員会が主導するミヤコタナゴ保護育成検討会及び関係機関と連携し保全活動に取り組みました。
	(横浜産) ミナミメダカ(金沢)	飼育下繁殖に加え、ビオトープを整備し野外環境での飼育に取り組みました(金沢)。
	ムカシツチガエル (金沢)	繁殖センターと連携して繁殖に取り組みました。
	ヤマアカガエル等 (よこはま、金沢)	よこはま・金沢での卵塊数調査を実施しました。
域内保全活動事業	オカピ(よこはま、金沢)	現地で活動するオカピ保全プロジェクトへ支援金を送付すると共に、世界オカピの日に合わせた普及活動に取り組みました。
インドネシア政府との保護協定	テングザル(よこはま)	飼育委任(2年)延長について協議し、原契約を更新しました。
希少植物の保全	エビネ等(金沢)	下草や倒木を片付け生育環境を整備しました。
園内の生物多様性保全	園内の野生動植物	園内の生物多様性向上を目的とした林地等環境の整備と生物モニタリングを実施しました。

④傷病鳥獣の受入、治療、および野生復帰

ケガや病気により救護された野生鳥獣(鳥類・哺乳類)を治療し、野生に戻す取組を行いました。鳥インフルエンザ防疫対応以前までは、例年通り、巣立ち雛の誤認保護が多く、冬季では、成獣タヌキの疥癬症の保護が多い傾向が見られました。

※鳥インフルエンザ防疫対応のため令和7年4月1日から6月12日の間および10月20日から3月31日の間には傷病鳥の受け入れを中止しました。(令和8年3月31日時点で対応受け入れ中止継続)

【傷病鳥獣保護点数】

園名	点数	
	令和7年度	前年度比
よこはま	105 点	-35 点
野毛山	76 点	+7 点
金沢	135 点	+17 点
計	316 点	-11 点

⑤保全のための人材育成に向けた取組

ア 職員の育成

職員の保全意識向上を図るため、野生動物保護研修やよこはま動物園園長による動物園学習、SDGs研修等を実施しました。

イ お客様の保全意識向上に向けた取組

講演会やセミナー、パネル展示を実施するとともに、一部のものは、その効果についてもアンケート等を行うことで評価しました。

【主な取組と評価】

(ア) 複数園

プログラム名	取組概要と評価	実施日	参加人数
飼育の日	4月19日(シイク)に合わせ、飼育係の仕事についてパネル展を通じて紹介し、動物園への理解を深める普及活動を実施しました。 さらに理解を深めてもらえるよう、実際に使用している道具をひだまり広場にて展示しました。(野毛山)	よ:(3月12日)～5月6日 野:(4月15日)～5月6日 金:4月8日～5月6日	—
世界キリンの日(よこはま、野毛山、金沢)	世界キリンの日にちなみ、3園で飼育しているキリン及び保全について理解を深めてもらえるよう、野毛山動物園ではチャリティーガイドやワークショップ、パネル展、SNSクイズ等を実施しました。 また、物販による売上金の一部をキリン保全財団(Giraffe Conservation Foundation:GCF)へ寄付し生息域内保全に貢献しました。 よこはま動物園や金沢動物園でも特別なガイド等を実施しました。	よ:6月1日～6月30日、 野:6月14日～7月21日、 金:6月21日	ガイド (野)433名 (金)30名 チャリティーガイド (野)45名 ワークショップ (野)48名
夏休み宿題教室(よこはま、野毛山、金沢)	夏休みの小学生の自由研究応援として、動物園の動物や身近な生き物について学んだり、採血等の獣医の仕事について、体験を実施しました。	よ:7月20、21日、8月1日、2日 野:8月5日、 金:7月20日	(よ)79名 (野)10名 (金)7名
世界ゾウの日特別イベント「ゾウ大使になろう」(よこはま、金沢)「エレファントナイト」(金沢)	認定NPO法人トラ・ゾウ保護基金と連携し、世界ゾウの日にちなみ、小学生を対象としたインドゾウについてのレクチャーとワークショップを実施しました。参加者は、ゲームを通してゾウの生態や脅威を実感できていました。 金沢で実施した「エレファントナイト」では、ゾウの保全団体と連携し、ナイト金沢実施時に合わせてブース出展等を実施しました。	ゾウ大使(金)8月16日 (よ)8月23日 エレファントナイト(金)8月9日、10日	ゾウ大使: (よ)8名 (金)8名 エレファントナイト: (金)13,633名
【拡充】国際レッサーパンダデー企画	パネル展、ワークショップを実施しました。また、園内ショップ等と連携したグッズを販売しました。(よこはま)	9月3日～9月30日(よ)	ガイド: (野)330名 ワークショップ:

(よこはま、野毛山)	特別ガイドを実施しました(9月の土日)。来園者の保全活動の一環として、野生のレッサーパンダの保全活動を行う団体「レッドパンダネットワーク」への募金を実施し、域内保全への参加を呼びかけました。(野毛山)	9月2日～9月30日(野)	(よ)71名
世界オカピの日 (よこはま、金沢)	飼育員の特別ガイドの実施と、Okapi Conservation Project(OCP)の活動内容紹介パネルの展示、ワークショップ、アフリカ楽器の演奏、アフリカ雑貨の販売などを実施し、売上の一部をOCPに寄付することで、現地支援に貢献しました。(よこはま、金沢)	10月4日、5日、18日(よ) 10月12日、13日	ガイド: (よ)620名 (金)111名
魅力発見！横浜3動物園めぐり	横浜の3動物園を巡回する、横浜の動物園の歴史、動物福祉や保全の取組を紹介する、大人向けの連続講座を実施しました。	9月14日、10月18日、11月24日	延べ55名 (よ)17名 (野)19名 (金)19名
飼育体験(よこはま、野毛山、金沢)	動物園の業務体験を通して、動物園の社会的役割を学んでもらう体験学習を実施しました。よこはま、野毛山は、大人の部と子どもの部を設け、金沢は年齢を問わないペアでの参加としました。	よ:6月7日、8日、14日、15日、7月11日、12日 野:7月26日、8月20日、9月27日、11月16日、24日 金:11月23日、24日	(よ)131名 (野)56名 (金)35名
公開飼育研究会	3園と横浜市繁殖センターで行っている調査研究の成果について、各施設1題ずつ発表しました。	1月25日	88名

(イ)よこはま

プログラム名	取組概要と評価	実施日	参加人数
ズーラシアスクール	小学高学年を対象に、連続講座を通して、動物や人、環境について考える総合力を養うことを目的とした企画を実施しました。 半年間、毎回テーマを変えて、動物だけでなく環境についても深く学ぶことができました。	9月～3月毎月1回実施	196名
世界バクの日特別ガイド	世界バクの日にちなみ、マレーバクの特別ガイドを実施しました。	4月27日	60名
身近な生きもの展	ズーラシア周辺や市内に生息する動物について学べる企画展を実施しました。	5月8日～7月28日	—

世界キノボリカンガルーの日・ドールの日企画	世界キノボリカンガルーの日、世界ドールの日にちなみ、パネル展、特別ガイド、ワークショップ等を実施しました。	5月14日～6月2日	ワークショップ:71名
世界カワウソの日企画	世界カワウソの日にちなみ、ユーラシアカワウソのパネル展、特別ガイド、講演会、ワークショップ及び物販販売を実施しました。また、売り上げの一部をInternational Otter Survival Fundへ寄付しました。	5月14日～6月2日	ガイド:100名 ワークショップ:91名 講演会:95名
いきものSOS展	世界の野生動物や身近な生物の現状を伝える企画展を実施しました。	6月4日～9月1日	—
世界トラの日・ウンピョウの日企画	世界トラの日、世界ウンピョウの日にちなみ、パネル展、特別ガイド、ワークショップを実施しました。	7月23日～8月4日	ガイド:70名 ワークショップ:834名
「オカピのふるさとを知らう:『地球の肺』コンゴ盆地について理解を深める」講演会	国際協力機構(JICA)との共催で、オカピやオカピの生息地であるコンゴ盆地に関連した講演会を開催しました。	7月27日	101名
テングザルの日企画	10月9日をテングザルの日とし、テングザルについて学べるパネル展、ワークショップ及び特別ガイドを実施しました。	9月23日～10月13日	ガイド:50名 ワークショップ:68名
ツシマヤマネコの日企画	ツシマヤマネコの日にちなみ、ツシマヤマネコのパネル展、特別ガイド、ブース出展を実施しました。	10月1日～11月3日	ガイド:100名
コウノトリまつり in ヌーラシア	保全団体と連携してブース出展やワークショップを実施し、コウノトリの生態や保全の取り組みについて普及啓発を行いました。	11月15日、16日	—
世界アリクイの日企画	オオアリクイの生態や体の特徴、保全活動について紹介するパネル展や特別ガイドを実施しました。	11月12日～12月1日	150名
ニューラシアの野鳥展	保護野鳥と園内の野鳥について紹介するパネル展を実施しました。	12月10日～1月12日	—
国際チーターの日	国際チーターの日にちなみ、チーターの生態や野生での現状、保全についての紹介するパネル展や特別ガイドを実施しました。	12月1日～12月28日	ガイド:100名
国際ホッキョクグマの日	国際ホッキョクグマの日にちなみ、野生のホッキョクグマの現状等を伝えるパネル展を実施しました。	2月11日～3月2日	—

(ウ)野毛山

プログラム名	取組概要と評価	実施日	参加人数
世界渡り鳥の日	世界渡り鳥の日にちなみ、野鳥の現状や日本で見られる渡り鳥や留鳥などを紹介するパネル展を実施しました。	5月10日～6月15日	—

野毛山動物園セミナー2025	動物園の役割のひとつである「調査・研究」に焦点を当てた「動物園セミナー」を実施しました。ミナミコアリクイ・グリーンイグアナをはじめとしたコスタリカの動物についての講演会を行い、セミナー講師・特別協力の埼玉県こども動物自然公園とはオンラインで接続し、中継でのガイドを行いました。	9月 23 日	52 名
国際シマウマの日	野生のシマウマの現状や生態などについて紹介するパネルを展示し、野毛山動物園の個体についてやグレビーシマウマの生息地、取り巻く環境についてガイドを行いました。	1月 6 日～3月 1 日(パネル展) 1月 31 日(ガイド)	ガイド: 100 名
第 21 回動物たちの SOS 展～手に入れるより、守る未来へ～	野生動物の「商用利用」をテーマに、「生息地での野生動物の現状」、「ペットや製品として消費される野生動物」など動物園の動物たちが絶滅の危機に瀕している事実を広く知ってもらうこと、野生動物との関わり方、生物多様性の大切さを伝える企画を外部機関と協働で実施しました。野生動物の現状を伝えるパネル展示と園内を回りながら野生動物の現状を学べる SOS ミッションラリー(参加費:200 円)を実施しました。	3月3日～31 日	スタンプ&ミッションラリー: 500 名

(エ) 金沢

プログラム名	取組概要と評価	実施日	参加人数
GW イベント「Save the animal～あなたの知らない絶滅危惧種」	絶滅危惧種をテーマに市内の環境保全団体などと協働し、体験型のイベント開催や展示ブースを出展。飼育員の特別ガイドも実施しました。	4月 26 日～5月 6 日	27,784 名
環境月間パネル展「バーラルを取り巻く環境～人のかかわり」	野生のバーラルを取り巻く環境と、現地の人々とのかかわりを紹介するパネルを展示しました。	6月3日～6月 29 日	—
夏の企画展「身近ないきものを知ろう」	身近に見られる生きものたちの解説パネルと、環境保全活動の紹介や、環境省や JAZA と連携して取り組んでいる域外保全種を紹介するパネル展示、身近に観察できる昆虫の生態展示を実施しました。	7月 20 日～8月 31 日	—
Zoo to Wild Fes Autumn～人と自然のかかわり	環境保全(人と自然のかかわりについて)をテーマに、市内の環境保全団体などと協働して、体験型のイベントや展示ブースを出展しました。	11 月 1 日～3 日	9,189 名
Zoo to Wild セミナー「バーラルと高山帯で暮らす生き物」	野生バーラルの生息地で研究を行っている講師による講演と、飼育下個体の観察会を実施しました。	11 月 29 日	35 名

動物園の野良しごと～山の手入れをしよう～	SDGsを意識しながら動物園で実践している環境保全活動を、わかりやすく普及するプログラムを実施しました。パネル展示と参加者体験型のイベントを開催しました。	2月10日～2月23日(パネル展) 2月21日(体験イベント)	体験イベント: 12名
Zoo to Wild Fes spring～楽しくSDGzoo®	絶滅危惧種をテーマに市内の環境保全団体などと協働し、体験型のイベント開催や展示ブースを出展しました。	3月20日、21日	4,613名

その他、一般来園者を対象とした教育プログラムは、以下の7種を実施しました。

園名	プログラム名	概要
3園	動物ガイド	飼育員による動物の生態・行動に関するガイドを実施しました。 ・とっておきタイム(よこはま) ・お食事タイム(野毛山) ・わくわくタイム(金沢) 等
よこはま	ガイドツアー	動物の解説を聞ける特別な園内案内(ウォーキングツアー)、動物の餌を準備する台所の見学ツアーを実施しました。
	ズーラシア どうぶつ教室	動物たちの裏話や動物に関連するクイズや工作等、楽しく参加していただけるワークショップや講座を実施しました。
	バードショー	鳥の飛行能力を体感できるバードショーを実施しました。
野毛山	ガイドツアー	「動物病院ガイドツアー」、「動物園の台所ツアー」を、事前申込制で実施しました。
金沢	ののほな教室	園内の草花や発生材等を活用した工作や炭焼き体験などにより、子どもたちが自然の豊かさと自然循環を体感できる教室を開催しました。
	ののほな館おはなし会	金沢区街の先生やボランティア団体を招聘して、絵本や紙芝居の読み聞かせ会を開催しました。

(3) 調査・研究などに対する取組

大学や研究機関と協力して動物に対する科学的な知識を深め、その情報を多くの方々と共有し、野生動物の保全に貢献しました。また、新たに日動水に創設された MUG 生物多様性保全研究助成事業に金沢動物園が実施する「飼育下ミゾゴイの保全的移植技術確立に向けた試験放鳥」が採択され、外部資金を活用した研究活動を推進しました。

① 日本をリードする取組

よこはま動物園では、レッサーパンダの人工哺育の改良例やシシオザルの飼育環境改善等をテーマに研究発表を行いました。また、野毛山動物園ではツキノワグマに実施したエンリッチメントの効果測定について日本大学との「Japanese black bear (*Ursus thibetanus japonicus*) ringing a bell: Anticipatory behavior or intrinsic motivation?」の共著タイトルで Journal of Applied Animal Welfare Science に掲載されました。

②繁殖センター及び大学等外部機関との積極的な連携

大学や研究機関等との共同研究を通じて、効果的な研究を進めることができるよう取り組みました。特に、よこはま動物園では、繁殖の推進が求められているツシマヤマネコ、ホッキョクグマ、クロサイ等を対象に、繁殖センターとの共同研究により糞中ステロイドホルモンの測定、分析による発情、ペアリング適期の判定や妊娠判定などを行い、繁殖に向けた取組を計画的に進めました。

【共同研究件数】

園名	大学等外部機関との 研究件数(前年度比)	繁殖センターとの 研究件数(前年度比)
よこはま	8件(+1件)※	14件(-2件)
野毛山	10件(-5件)	1件(-1件)
金沢	15件(-6件)	3件(±0件)
計	33件(-10件)	18件(-3件)

※この集計には、繁殖センターが大学等外部機関で行ったもの4件を含む

【大学等外部機関との主な共同研究テーマ】

園名	相手方	テーマ
よこはま	帝京科学大学	よこはま動物園ズーラシアで飼育しているオスのホッキョクグマに他個体の匂いを利用した嗅覚エンリッチメント
	日本大学	アカカワイノシシ(<i>Potamochoerus porcus</i>)における飼育施設利用の季節的選好
野毛山	東京農業大学	ミナミコアリクイの生殖生理に関する調査について
	東京都立大学	展示種の相対注目度とその理由
金沢	日本大学	動物園動物を対象とした活動量計を用いた行動解析手法の有用性の検証
	横浜市立大学	金沢自然公園の特性を通じた未来園者に向けた価値訴求の考察

【繁殖センターとの主な共同研究テーマ】

園名	相手方	テーマ
よこはま	繁殖センター	チーターの糞中性ステロイドホルモンの測定
		スマトラトラの精子凍結保存
野毛山	繁殖センター	なかよし広場のモルモットにおけるストレス評価(工事に伴う獣舎移動前後の期間と、ふれあいプログラム再開後の比較)
金沢	繁殖センター	糞中の性ステロイドホルモン含量を指標としたアラビアオリックスの性周期のモニタリング
		糞中ホルモン測定によるカモシカの発情周期調査

③研究発表・論文投稿

調査・研究で得られた成果等を3園の職員間で共有するため、飼育研究会を各園で開催し、その成果を動物園研究会報として発行しました。また、顕著な成果については、学会等での発表や論文投稿に取り組みました。

【口頭発表・論文投稿件数】

園名	口頭発表件数(前年度比)	投稿記事、論文投稿件数(前年度比)
よこはま	6件(－3件)	1件(－1件)
野毛山	7件(±0件)	1件(±0件)
金沢	12件(+5件)	1件(±0件)
計	25件(+2件)	3件(－1件)

【口頭発表のテーマ例】

園名	発表先	テーマ
よこはま	第73回動物園技術者研究会	レッサーパンダの人工哺育の実績調査 アンケートの結果を参考にした人工哺育改良例
	令和7年度みどり環境局業務研究・改善事例発表会	シシオザルのより良い飼育管理・展示を目指した取り組み
野毛山	第73回動物園技術者研究会	ヘサキリクガメにおけるPGCとその改善について
	第32回関東東北・北海道ブロック動物園技術者研究会	インドライオンにおける腎不全の症例報告
金沢	第30回関東東北・北海道ブロック動物園水族館合同技術者研究会	オカピに関する展示とイベントについて
	第31回日本野生動物医学会大会	飼育下オオツノヒツジにおけるPAGs検査キットによる妊娠鑑定の試み

【投稿記事・論文発表】

園名	発表先	テーマ
よこはま	Journal of Vertebrate Biology.Vol.74 (No.25014、P1-11)	Behaviour and survival time after the release process of hand-reared and treated raccoon dogs (傷病タヌキの野生復帰)
野毛山	The Journal of Veterinary Medical Science	Systemic Apolipoprotein C-III Amyloidosis in an Asian Lion (Panthera leo persica)
金沢	観音崎自然博物館研究報告たたらはま No. 29:20-22 (2025)	神奈川県横浜市および横須賀市で採集されたミズカマキリの記録

④研究成果の市民、来園者等への積極的な発表や還元

3動物園で行っている調査・研究の成果を毎年市民向けに公開飼育研究会として開催しています。令和7年度は、よこはま動物園がレッサーパンダの人工哺育に関して発表したほか、野毛山動物園がミヤコカナヘビの飼育報告、金沢動物園ではオオツノヒツジの繁殖に関する発表を行いました。このほか、金沢動物園では研究者を招聘しスーチョワンバーラルの生息環境に関する講演会も実施しました。

5 施設等の維持管理

(1) 施設及び設備の維持管理

体制の整備や情報共有の仕組みの強化、作業計画やマニュアル類の整備等を推進し、全ての園内施設について仕様を十分に理解した維持管理業務を実施しました。修繕は、劣化状況を確認するとともに施設全体の状況を考慮し、最適な修繕方法を選択しました。過去の修繕状況を把握し、計画的に維持管理を行うことで施設・設備の長寿命化を図りました。そのほか今後の適切かつ円滑な施設修繕等に役立てるため、3動物園の設備台帳を運用しています。また、手すりや看板、ベンチの再塗装・更新など、利用者が快適・安全に過ごせるような維持管理を積極的に行いました。

【主な取組】

園 名	概要
よこはま	サバンナゾーン等照明 LED 化、管理センター駐車場舗装修繕、ごろろ橋修繕、カヤック等レプリカ修繕 等
野毛山	展望台・病院棟他 LED 化、排水溝柵蓋・舗装ブロック修繕、バスケットコート利用案内修繕 等
金沢	オセアニア休憩所照明設備修理工事、正面口駐車場3階エキスパンション部修繕、獣舎空調機修繕、作業小屋林場鉄骨修繕 等

①3園が連携した維持管理体制を確立

「安全・安心の確保」を維持管理の最優先課題とし、組織的に取り組む体制を確立しました。

②維持管理計画(修繕計画含む)に基づく計画的な業務

各園の維持管理実施計画に基づき計画的に業務を遂行しました。

【修繕作業・工事実施実績】

園名	件 数	
	令和7年度	令和6年度
よこはま	163 件	130 件
野毛山	54 件	48 件
金沢	60 件	77 件
計	277 件	255 件

③高水準な維持管理を確保するマニュアルの整備

公園施設点検マニュアル等、各種マニュアルを定期的に見直し、確実に業務を履行する事で高水準な維持管理を確保しました。

④コスト削減を可能にする維持管理

安全やサービス水準の確保を前提に、大規模修繕につながらないようこまめな修繕を重ねることでコスト削減に取り組みました。

【主な修繕実績】

園 名	主な修繕
よこはま	ペンギン展示場プール水漏れ修繕、管理棟冷温水機修繕、ホッキョクグマろ過装置電動弁修繕、インドゾウ舎キープスペース扉他修繕、オカピ展示場塗裝修繕、海獣舎水中ビューシーリング修繕、オカピ舎鋼製建具塗装他修繕、シマウマ・エランド舎給水引込修繕・インドライオン舎ガラス研磨 等
野毛山	なかよし広場獣舎内コンセント修繕、遊具広場ブランコマット更新、電気室高圧コンデンサ及び直流バッテリー交換、なかよし広場ハンガー引き戸修繕、新サル舎温風暖房機送風用Vベルト交換、円形サル舎シュート腐食部穴塞ぎ工事 等
金沢	作業小屋林場鉄骨修繕、カンガルーウォークスルー丸太ロープ柵修繕、ライチョウ舎寝室空調機修繕、ローラー滑り台修繕、管理棟事務所入りロタイル舗裝修繕、インドサイ舎扉他施設修繕、ののほな館冷温水発生機修繕、管理事務所天井埋込換気扇修繕、なかよしトンネル屋内消火栓設備他改修、バーラル舎他空調機設置 等

(2) 園地及び遊具等の維持管理

「安心」「快適」で、「憩いと安らぎを提供する場」として植物等を活かした魅力づくりを行いました。また、緑や生物の多様性を守り、市民が自然に親しみ知識を深められるよう高水準な維持管理を行うことにより、各園の魅力を高めました。

【主な取組】

園名	概要
よこはま	林床植物に配慮した草刈り、野鳥等に配慮した池周辺の管理
野毛山	中高木剪定、利用頻度に合わせた草刈り、バラの育成管理
金沢	遊具修繕、高木剪定、園内各所舗裝修繕、樹形・生育改善のための台場切り、「保全管理計画」に基づく既存林の調査や林床管理

① マニュアル等による高水準な維持管理の確保

マニュアル等により高水準な維持管理を確保しました。また、横浜市内の官公需適格組合「横浜市グリーン事業協同組合」との連携による効率的・効果的な維持管理を行いました。

② 園地の維持管理(快適な園地環境の提供)

清掃業務を適切に実施しました。また、調整池・修景池、園路・広場、トイレ等の機能を損なうことなく、清潔で快適な空間を維持するよう、適正管理しました。老朽化した施設には計画的な修繕を行い、特に看板等の案内機能の修繕を図りました。

③ 植栽等の育成管理

植栽の管理方法やポイントを定めた「植栽マニュアル」や、「植物年間作業計画」により、作業漏れ・ミスの防止と、高水準な植栽管理を実現しました。また、サクラ、マツ、ナラ類等の病虫害発生や生育障害をできる限り防止しました。

なお、作業は騒音等飼育動物に最大限配慮するほか、市の「公園緑地等維持業務共通仕様書」に準拠した形で、適正に図面・作業記録の作成・保管を行いました。

④遊具施設の維持管理

遊具は、危険箇所、壊れた部品がないか、不具合がないか、近いうちに支障が生じる場所はないか等、安全面に十分配慮し、毎月の点検を実施しました。また、公園施設製品安全管理士による遊具詳細点検も実施し、指摘箇所は横浜市と相談し、早急に対応しました。点検結果はすみやかに市へ報告しました。

(3)施設及び設備等の安全対策

利用者の安心、安全の利用環境を提供するため、定期点検等を実施しました。また、予防保全及び今後の適切かつ円滑な施設修繕等に役立てるため、3動物園の設備台帳を運用しました。

【点検実施実績】

園名	点検名	実施回数等
3園	日常点検	毎開園日
	定期点検	年4回
	法定点検	設備に応じた点検頻度
	臨時点検・緊急点検	適宜
	建築物点検	年1回
	設備点検	設備に応じた点検頻度

①施設及び設備等の安全対策の基本的な考え方

不具合の未然防止・早期発見のため、公園施設点検マニュアルを整備し、これに基づく点検を実施しました。

②施設の安全対策

安全性と快適性を特に重視し、維持管理を実施しました。定期点検は、「公園施設点検チェックシート」を使用して実施し、結果を市に報告しました。

6 管理運営経費

(1)算定の考え方

以下のとおり、収入の増加と管理運営経費の削減に取り組みました。

①収入増加の取組

各種広報、地域連携活動やイベントの実施により、積極的に集客対策に取り組みました。既存の協賛企業の継続と新規協賛の獲得に努め、よこはま動物園は7社と協賛契約を締結しました。また、動物の飼育環境改善や園内施設の改修に充てる費用として、アニマルペアレント制度のほか、野毛山動物園では従来の募金に加え、引き続きレッサーパンダ型募金箱やカプセルトイの設置、返礼品付き寄付等の取組を実施し、外部資金を獲得しました(P.23～25 参照)。

このほか、講演会やプログラムの有料化、料金設定を見直したほか、新たに金沢動物園で行う保全活動に資する MUFU 生物多様性保全研究助成金や JAC 環境動物保護財団からの助成金を獲得し調査研究等を実施しました。

②経費削減の取組

3園一体での共同発注や発注方法や契約内容の見直しを行うことで経費の削減に取り組み、効率化を図りました。

【主な3園共同発注】

園地管理業務	動物用飼料	消耗品購入
園内清掃業務	施設賠償責任保険	フローアーマット交換業務
警備・窓口等業務	自動車任意保険	利用者アンケート集計・分析
消臭芳香器交換業務	廃棄物処理業務	

③コストバランスへの配慮

コスト削減に取り組む一方、動物園の役割や適切な質を維持するための予算を確保しました。原則として、横浜市中心企業振興基本条例を踏まえながら、横浜市緑の協会経理規程に則って入札等の方法により調達しました。

④委託

物販・飲食業務、園地管理業務等、直営と比較し、専門業者へ委託する方が効果的、効率的と判断された業務については、委託により実施しました。

正味財産増減計算書内訳表

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位 円)

科 目	公益目的事業会計					収益事業等会計	法人会計	内部取引等 消去	合 計
	緑化推進事業	公園事業	動物園事業	共通	小計	経営事業			
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
基本財産運用益	0	0	0	148,650	148,650	0	0		148,650
基本財産受取利息	0	0	0	148,650	148,650	0	0		148,650
特定資産運用益	22,660,950	0	0	0	22,660,950	595,233	1,792,750		25,048,933
特定資産受取利息	22,660,950	0	0	0	22,660,950	595,233	1,792,750		25,048,933
事業収益	0	1,265,060,984	3,194,061,233	0	4,459,122,217	1,413,146,802	0		5,872,269,019
事業収益	0	1,265,060,984	3,194,061,233	0	4,459,122,217	1,413,146,802	0		5,872,269,019
受取補助金等	631,526,832	13,843	4,646,544	0	636,187,219	0	0		636,187,219
受取横浜市補助金	1,526,832	0	0	0	1,526,832	0	0		1,526,832
受取民間補助金	0	0	1,000,000	0	1,000,000	0	0		1,000,000
受取民間助成金	0	0	3,172,851	0	3,172,851	0	0		3,172,851
受取補助金振替額	630,000,000	13,843	0	0	630,013,843	0	0		630,013,843
受取助成金振替額	0	0	473,693	0	473,693	0	0		473,693
受取負担金	33,629,000	0	0	0	33,629,000	0	0		33,629,000
受取横浜市負担金	33,629,000	0	0	0	33,629,000	0	0		33,629,000
受取寄付金	9,727,023	1,740,362	6,842,870	0	18,310,255	0	0		18,310,255
受取寄付金	9,725,177	1,740,362	2,113,195	0	13,578,734	0	0		13,578,734
受取寄付金振替額	1,846	0	4,729,675	0	4,731,521	0	0		4,731,521
雑収益	2,658,115	1,891,817	2,962,444	0	7,512,376	2,963,556	2,210,085		12,686,017
受取利息	871	0	0	0	871	80,472	0		81,343
雑収益	2,657,244	1,891,817	2,962,444	0	7,511,505	2,883,084	2,210,085		12,604,674
経常収益計	700,201,920	1,268,707,006	3,208,513,091	148,650	5,177,570,667	1,416,705,591	4,002,835	0	6,598,279,093
(2) 経常費用									
事業費	133,390,854	1,408,245,206	3,406,845,469	0	4,948,481,529	1,006,302,277			5,954,783,806
役員等報酬	400,912	1,162,645	1,403,192		2,966,749	721,641			3,688,390
給料手当	58,849,691	340,753,718	958,216,112		1,357,819,521	139,758,161			1,497,577,682
賞与引当金繰入額	4,857,163	30,878,295	88,903,849		124,639,307	5,217,676			129,856,983
臨時雇用賃金	4,381,906	234,984,739	69,698,591		309,065,236	82,447,166			391,512,402
派遣者賃金	375,411	654,756	46,178		1,076,345	203,751			1,280,096
退職給付費用	1,584,996	9,748,193	61,867,209		73,200,398	3,688,355			76,888,753
法定福利費	10,338,164	79,423,103	174,415,698		264,176,965	29,030,283			293,207,248
福利厚生費	349,216	6,351,145	7,037,955		13,738,316	937,163			14,675,479
教育研修費	209,838	1,044,032	833,453		2,087,323	217,071			2,304,394
会議費	1,210	0	13,708,437		13,709,647	0			13,709,647
旅費交通費	654,162	2,493,767	5,451,032		8,598,961	1,024,653			9,623,614
通信運搬費	715,366	7,703,357	5,977,232		14,395,955	2,946,777			17,342,732
減価償却費	147,429	2,489,052	15,424,697		18,061,178	22,241,080			40,302,258
公共施設負担金償却費	0	0	0		0	2,881,388			2,881,388
消耗什器備品費	455,580	3,306,983	2,341,619		6,104,182	213,676			6,317,858
指定管理対象財産購入費	0	407,308	5,980,425		6,387,733	0			6,387,733
消耗品費	14,407,004	42,855,658	196,493,122		253,755,784	8,654,939			262,410,723
修繕費	12,650	40,607,063	156,488,446		197,108,159	10,956,226			208,064,385
印刷製本費	249,687	3,939,981	13,156,014		17,345,682	6,098,467			23,444,149
燃料費	65,650	2,281,501	2,082,152		4,429,303	146,338			4,575,641
光熱水料費	478,953	148,823,567	344,653,694		493,956,214	20,957,358			514,913,572
賃借料	3,790,350	22,034,554	38,307,399		64,132,303	76,227,473			140,359,776
管理許可使用料	0	0	0		0	225,915,903			225,915,903
保険料	91,486	840,824	1,588,805		2,521,115	2,045,304			4,566,419
諸謝金	1,287,520	10,066,200	3,456,645		14,810,365	311,619			15,121,984
交際費	0	168,894	68,308		237,202	0			237,202
渉外費	6,804	469,058	172,289		648,151	0			648,151
諸会費	20,000	139,000	4,618,289		4,777,289	192,500			4,969,789
租税公課	108,445	55,857,894	123,942,645		179,908,984	66,182,141			246,091,125
支払負担金	4,631,000	2,804,200	1,902,039		9,337,239	133,142			9,470,381
支払助成金	14,202,205	30,000	0		14,232,205	0			14,232,205
支払寄付金	0	0	8,785,339		8,785,339	0			8,785,339
委託費	10,426,967	352,027,035	1,072,551,037		1,435,005,039	240,780,077			1,675,785,116
手数料	232,694	2,133,414	10,474,649		12,840,757	16,561,567			29,402,324
広告費	58,395	1,525,420	16,798,918		18,382,733	100,470			18,483,203
仕入代金	0	0	0		0	39,457,132			39,457,132
雑費	0	239,850	0		239,850	52,780			292,630
管理費							42,030,710		42,030,710
役員等報酬							14,048,090		14,048,090
給料手当							10,106,184		10,106,184
賞与引当金繰入額							962,213		962,213
臨時雇用賃金							862,175		862,175
派遣者賃金							13,326		13,326
退職給付費用							1,239,509		1,239,509
法定福利費							2,603,525		2,603,525
福利厚生費							321,232		321,232
教育研修費							59,836		59,836
会議費							4,043		4,043
旅費交通費							80,694		80,694
通信運搬費							399,845		399,845
減価償却費							78,724		78,724
消耗什器備品費							15,880		15,880
消耗品費							999,534		999,534
印刷製本費							98,572		98,572
燃料費							2,070		2,070
光熱水料費							380,653		380,653

科 目	公益目的事業会計					収益事業等会計	法人会計	内部取引等 消去	合 計
	緑化推進事業	公園事業	動物園事業	共通	小計	経営事業			
賃借料							2,368,408		2,368,408
保険料							1,364		1,364
諸謝金							3,443,945		3,443,945
交際費							274,174		274,174
渉外費							816,988		816,988
諸会費							664,800		664,800
租税公課							28,011		28,011
支払負担金							533,000		533,000
支払助成金							504,000		504,000
委託費							888,730		888,730
手数料							184,775		184,775
広告費							46,410		46,410
経常費用計	133,390,854	1,408,245,206	3,406,845,469	0	4,948,481,529	1,006,302,277	42,030,710	0	5,996,814,516
評価損益等調整前当期経常増減額	566,811,066	△139,538,200	△198,332,378	148,650	229,089,138	410,403,314	△38,027,875	0	601,464,577
基本財産評価損益等	0	0	0	△542,868	△542,868	0	0		△542,868
特定資産評価損益等	△10,782,937	0	0		△10,782,937	△2,520,000	△15,544,000		△28,846,937
評価損益等計	△10,782,937	0	0	△542,868	△11,325,805	△2,520,000	△15,544,000	0	△29,389,805
当期経常増減額	556,028,129	△139,538,200	△198,332,378	△394,218	217,763,333	407,883,314	△53,571,875	0	572,074,772
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
固定資産売却益	0	0	0	0	0	25,000	0		25,000
固定資産受贈益	0	0	0	0	0	273,900	0		273,900
経常外収益計	0	0	0	0	0	298,900	0	0	298,900
(2) 経常外費用									
固定資産除却損	0	82,144	4	0	82,148	1	0		82,149
経常外費用計	0	82,144	4	0	82,148	1	0	0	82,149
当期経常外増減額	0	△82,144	△4	0	△82,148	298,899	0	0	216,751
他会計振替前当期一般正味財産増減額	556,028,129	△139,620,344	△198,332,382	△394,218	217,681,185	408,182,213	△53,571,875	0	572,291,523
他会計振替額	0	0	0	388,203,769	388,203,769	△440,824,038	52,620,269	0	0
うち収益の繰入				388,203,769	388,203,769	△388,203,769	0		0
うち資産の移転				0	0	△52,620,269	52,620,269		0
税引前当期一般正味財産増減額	556,028,129	△139,620,344	△198,332,382	387,809,551	605,884,954	△32,641,825	△951,606	0	572,291,523
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	0	0	991,200	0	0	991,200
当期一般正味財産増減額	556,028,129	△139,620,344	△198,332,382	387,809,551	605,884,954	△33,633,025	△951,606	0	571,300,323
一般正味財産期首残高					205,065,861	2,727,693,809	2,633,415	0	2,935,393,085
一般正味財産期末残高					810,950,815	2,694,060,784	1,681,809	0	3,506,693,408
II 指定正味財産増減の部									
受取助成金	0	0	2,500,000	0	2,500,000	0	0		2,500,000
受取寄付金	3,773,024	0	7,543,000	0	11,316,024	0	0		11,316,024
基本財産評価損	0	0	0	296,082	296,082	0	0		296,082
特定資産評価損	62,489,063	0	0	0	62,489,063	0	0		62,489,063
一般正味財産への振替額	△630,001,846	△13,843	△5,203,368	0	△635,219,057	0	0		△635,219,057
当期指定正味財産増減額	△688,717,885	△13,843	4,839,632	△296,082	△684,188,178	0	0	0	△684,188,178
指定正味財産期首残高					2,456,766,602	5	0	0	2,456,766,607
指定正味財産期末残高					1,772,578,424	5	0	0	1,772,578,429
III 正味財産期末残高					2,583,529,239	2,694,060,789	1,681,809	0	5,279,271,837

【参考資料】

1 広報印刷物実績

<3園>

発行時期	広報印刷物名
令和7年7月	よこはま夜の動物園 2025 ポスター B1版 201 枚、B3版 3,977 枚

<よこはま>

発行時期	広報印刷物名
令和7年4月	ズーラシア ガーデンパーティーチラシ A4判 3,000 部
令和7年6月	イベントガイド夏号 30,000 部
令和7年7月	夏イベントポスター B1判 247 部、B3判 2,458 部、夏イベントチラシ A4判 9,793 部 ナイトズーラシア専用マップ A4判 30,000 部、園内マップ 日本語版 150,000 部
令和7年8月	ドリームナイトアットザズー専用マップ A4判 1,000 部
令和7年9月	秋イベントポスター B1判 253 部、B3判 2,718 部、イベントガイド秋号 45,000 部、 園内マップ 外国語版 7,000 部
令和7年 12 月	冬イベントポスター B1判 251 部、B3判 2,468 部 イベントガイド冬号 30,000 部、 園内マップ 日本語版 150,000 部
令和8年1月	園内マップ 外国語版 9,000 部
令和8年3月	春イベントポスター B1判 252 部、B3判 2,463 部、イベントガイド春号 45,000 部、 ズーラシア ガーデンパーティーチラシ A4判 5,000 部

<野毛山>

発行時期	広報印刷物名
令和7年4月	園内マップ日本語版 20,000 部、英語版 5,000 部
令和7年5月	園内マップ日本語版 20,000 部、園内季刊誌ふぉ～し～ず～ん 夏号 第 108 号 1,000 部
令和7年8月	野毛山動物園秋イベントポスター B1判 81 部・B3判 1507 部、園内季刊誌ふぉ～し～ず～ん 秋号 第 109 号 1,000 部
令和7年9月	園内マップ日本語版 20,000 部、英語版 5,000 部
令和7年 11 月	野毛山動物園冬イベントポスター B1判 82 部・B3判 1,507 部、園内季刊誌ふぉ～し～ず～ん 冬号 第 110 号 1,000 部
令和7年 12 月	園内マップ日本語版 20,000 部、英語版 5,000 部
令和8年2月	野毛山動物園春イベントポスター B1判 83 部、B3判 1,507 部、園内マップ日本語版 20,000 部、園内季刊誌ふぉ～し～ず～ん 冬号 第 111 号 1,000 部

<金沢>

発行時期	広報印刷物名
令和7年4月	金沢動物園だより4月号 300 部
令和7年5月	金沢動物園だより5月号 390 部、集客対策用ノベルティシール 3,000 枚
令和7年6月	金沢動物園だより6月号 170 部、園内マップ 17,000 部、暑さ対策夏集客対策紙うちわ印刷 1,000 枚
令和7年7月	金沢動物園だより7月号 140 部、町内会掲示用ナイトポスターA4判 2,000 部

令和7年8月	金沢動物園だより8月号 240 部、園内マップ 17,000 部、秋ポスターB1版 151 部・B3版 1,319 部 ナイト金沢マップ 1,500 部
令和7年9月	金沢動物園だより9月号 340 部
令和7年 10 月	金沢動物園だより 10 月号 430 部、町内会掲示用ポスターカレンダープレゼントチラシ A4 2,000 部
令和7年 11 月	金沢動物園だより 11 月号 380 部、園内マップ 17,000 部、冬ポスター B1版 155 部・B3版 1,319 部
令和7年 12 月	金沢動物園だより12月号 480 部、
令和8年1月	金沢動物園だより1月号 640 部、園内マップ 17,000 部
令和8年2月	金沢動物園だより2月号 440 部、春ポスター B1版 155 部・B3版 1,319 部
令和8年3月	金沢動物園だより3月号 630 部、園内マップ 17,000 部

2 ホームページでの情報発信実績

<3園>

名称	時期	内容
横浜の動物園での取組み	平成 28 年7月～	3園の情報を発信するサイト

<よこはま>

特設サイト

名称	時期	内容
ナイトズーラシア	令和7年7月、8月	ナイトズーラシアのイベントについての見どころ等を紹介

ブログ

名称	時期	内容
飼育日誌	平成 19 年4月～	飼育担当者による動物たちの日常を紹介
ブログ de ズーラシア	平成 19 年5月～	イベントの様子や園内装飾、植物等ズーラシアの様々な情報を紹介
チンパンジーの森日記	平成 21 年3月～	チンパンジーの日常や関連イベントを紹介
すまとらとらブログ	平成 26 年9月8日～	スマトラトラの日常や子どもたちの成長記録
アフリカのサバンナ@ズーラシア	平成 26 年 11 月1日～	「アフリカのサバンナ」ゾーンの動物たちの日常や生態等を紹介
ばかばか広場	平成 27 年9月1日～	ばかばか広場のウマやモルモットたちの日常や生態、飼育やイベントについて紹介
ズーラシア春夏秋冬	令和3年4月1日～	飼育動物以外の園内で見られる動植物を紹介

その他

名称	時期	内容
ズーラシアの世界を知る	令和8年3月～	ズーラシアのコンセプトを紹介するページ

<野毛山>

ブログ

名称	時期	内容
動物トピックス	平成 20 年4月～	野毛山に住む動物たちと、野毛山で毎日働いている飼育係や獣医師のトピックスを紹介
なかよしタイムズ	平成 20 年 12 月～	なかよし広場で飼育している動物の日々の様子を紹介
レプ担当のれぷブログ	平成 21 年5月～	爬虫類の日々の様子を紹介
みらいを見つめるチンパンジー	平成 23 年7月～	みなとみらい地区を望む野毛山の高台で生活するチンパンジーたちの日常をつづる

その他

名称	時期	内容
はじめてのどうぶつえん「First ZOO」	令和7年 10 月～	野毛山動物園のコンセプトを紹介するページ

<金沢>

ブログ

名称	時期	内容
飼育こぼれ話	平成 17 年5月～	飼育員が担当動物について紹介(平成 22 年1月よりブログ化)
花情報	平成 17 年 10 月～	植物普及担当が季節の花について紹介
OH!カンガルー	平成 20 年 12 月～	オオカンガルーの個体紹介やトピックス
身近な自然といろんないきもの	平成 29 年5月～	身近ないきもの館の生きものや野生生物・植物について紹介
オオきなツノのヒツジの日記	令和2年8月～	オオツノヒツジの子の成長や群れの様子、生息地を訪れた様子について紹介
飼育こぼれ話	平成 17 年5月～	飼育員が担当動物について紹介(平成 22 年1月よりブログ化)

3 寄付を活用した展示場改修等の実績

<よこはま>

財源	概要
アニマルペアレント	アムールヒョウ展示場の渡り木の更新等
寄付	キジ舎内の暑さ対策用の扇風機設置、園内動物の暖房器具等の購入、ツシマヤマネコの冷風機、ニホンザルのフィーダー等

<野毛山>

財源	概要
アニマルペアレント	動物用ハンモックの設置等
寄付	フサオマキザル展示場への暖房付き小屋の設置

<金沢>

財源	概要
アニマルペアレント	キリンサブパドックの扉をハズバンダリートレーニング用に改修等
寄付	インドサイ舎薪ボイラー設置等

4 学校教育向けプログラム実績

<来園プログラム>

3園または2園

プログラム名	概要	参加人数
① どうぶつ園のじゅうい	獣医の一日を紹介(オンラインによる実施を含む)	2,358 名(よ) 1,326 名(野) 4,437 名(金)
② どうぶつの赤ちゃん	動物たちの子育てやその違いについて解説(オンラインによる実施を含む)	347 名(よ) 93 名(野) 1,306 名(金)
③ 動物たちにズームイン	動物のクイズや毛皮や骨等実際に触れながら解説(オンラインによる実施を含む)	30 名(よ) 975 名(金)
④ 飼育員の一日	飼育員の一日の仕事を紹介(オンラインによる実施を含む)	129 名(よ) 451 名(野) 797 名(金)
⑤ 職業体験	掃除や餌の準備、イベントでの接客等の体験	180 名(よ) 22 名(野) 81 名(金)
⑥ 職場見学	環境問題に取り組む動物園の役割を紹介	20 名(よ) 24 名(野) 10 名(金)
⑦ 職業インタビュー	動物園のスタッフに動物園の仕事についてのインタビュー	40 名(よ) 81 名(野) 0名(金)

よこはま

プログラム名	概要	参加人数
⑧ ズーラシアの飼育員	動物園の役割や飼育員の仕事内容等を解説	30 名
⑨ 動物福祉の取組	よこはま動物園の特徴や動物福祉の取組等を解説	165 名
⑩ しっぽの使い方	動物のしっぽの使い方を紹介	228 名
⑪ オスとメスの違い	オスとメスの体の違いの説明	0名
⑫ 色々な赤ちゃん	おとなと比較し、赤ちゃんだけの特徴のお話	0名
⑬ 獣医師のお仕事	写真を用いて動物のケガや病気を説明	498 名
⑭ 獣舎バックヤードツアー	動物の寝室と飼料庫(餌置き場)に案内し、解説	2,107 名
⑮ 動物園の概要	動物園の役割やよこはま動物園の特徴についての解説	0名
⑯ 小動物とのふれあい	モルモットやハツカネズミとのふれあい方の解説と体験	895 名

金沢

プログラム名	概要	参加人数
⑭ 虫はかせになろう	昆虫の説明と身近な生き物の観察	214 名
⑮ 動物のほねときん肉	実物の動物たちに触れながら、動物の骨と筋肉について解説	1,063 名
⑯ ゾウの健康大作戦！ ガイド	ゾウが健康で長生きするための飼育の工夫を、飼育員がゾウを観察しながらガイド	561 名
⑰ キリンのおやつガイド	木の葉を食べるキリンの観察と飼育員の解説	667 名
⑱ 固有種が教えてくれること	日本の固有種と金沢動物園での固有種の保全活動について紹介	184 名
⑳ どうぶつと SDGs	動物園の社会的役割やゾウの飼育方法を題材に、動物園での SDGs の取り組みを紹介	96 名

<出張プログラム>

3園

プログラム名	概要	参加人数
㉑ 動物の赤ちゃん	動物たちの子育てやその違いについての解説（オンライン、DVD 貸し出しによる実施を含む）	(よ)690 名 (野)940 名 (金)597 名
㉒ 飼育員の1日	飼育員の1日の仕事を紹介（オンライン、DVD 貸し出しによる実施を含む）	(よ)1,350 名 (野)1,258 名 (金)1,863 名
㉓ 動物たちにズームイン	クイズを通した動物の解説（オンライン、DVD 貸し出しによる実施を含む）	(よ)259 名 (野)73 名 (金)0名
㉔ 職業講話	飼育員や動物園の仕事の解説	(よ)150 名 (野)289 名 (金)307 名

野毛山動物園

プログラム名	概要	参加人数
㉕ かんさつ名人になろう！	専用のワークシートを使用した、モルモットやハツカネズミ等とのふれあい方法、観察方法の解説	839 名

<先生方と内容を相談しながら作り上げるプログラム>

3園

プログラム名	概要	参加人数
動物園学習	学校の要望に合わせ、学習プログラムを用意（園内での対面、DVD の貸し出し、オンライン、電話、資料提供、園内での対面実施を含む。）1回の出張もしくは来園で実施するプログラム	(よ)48 名 (野)240 名 (金)962 名
連携授業	学校の要望に合わせ、動物の生態や動物園の役割等を先生や児童等と連携授業計画を作成。2回以上（原則 1 回以上来園）連続して実施するプログラム。（オンラインでの実施含む）	(よ)387 名 (野)140 名 (金)845 名

<小動物ふれあいプログラム>

野毛山 ※リニューアル先行工事のため9月より実施

プログラム名	概要	参加人数
小動物ふれあいプログラム	モルモットやハツカネズミ等とのふれあいプログラム。 リニューアル後から事前予約制に変更。	6,903 名

5 動物園研究会実績

<よこはま> 13 題

発表日	タイトル	テーマ
7月25日	ツシマヤマネコにおけるデスロレリンインプラント後の行動変化の一例	ツシマヤマネコ
8月26日	モウコノウマにおける輸送箱内での転倒によるミオパチー症状の発症と回復について	モウコノウマ
9月3日	高齢のアカアシドゥ克蘭ゲールに対する終末期の飼育例	アカアシドゥ克蘭ゲール
10月29日	2025 年度ウミネコ・セグロカモメの繁殖について	海鳥
11月26日	犬用ミルクを使用したアカカンガルーの人工哺育一例	アカカンガルー
12月16日	バードショー 自主運営から9年目を迎えて	バードショー
12月23日	レッサーパンダの人工哺育の実態調査アンケートの結果を参考にした人工哺育改良例	レッサーパンダ
12月23日	よこはま動物園におけるモルモットの診療記録を用いた後ろ向き研究	モルモット
1月29日	グラントシマウマの定期的な削蹄と蹄の管理について	グラントシマウマ
2月23日	第1回ゾウ飼育ワークショップ出席報告	ゾウ
2月23日	ライオンの爪切りトレーニング	ライオン
2月25日	シシオザルのより良い飼育管理・展示を目指した取り組み	シシオザル
2月25日	ホームページアクセス数から見る広報・情報発信と入園者数について	広報

<野毛山> 12 題

実施日	タイトル	テーマ
5月26日	野毛山動物園での日本鶏の飼育について	日本鶏
6月16日	野毛山動物園の普及プログラムについて	教育普及
6月16日	環境保全を国策とした国、コスタリカを旅して	保全
9月27日	興味を惹く看板についての調査	看板
10月13日	ヘサキリクガメの幼体に見られた PGC とその改善	ヘサキリクガメ
10月17日	SOS 展 実施報告	イベント
10月24日	ミヤコカナヘビの飼育	ミヤコカナヘビ
12月19日	インドライオンにおける腎不全の症例報告	獣医学
1月29日	アカエリマキキツネザルへの給与に適したペレットの比較検討	アカエリマキキツネザル
1月29日	未就学児の親子を対象としたプログラム	教育普及
3月3日	ルリゴシボタンインコの自然繁殖における基礎データの構築と兄弟数による成長比較	ルリゴシボタンインコ
3月23日	野毛山動物園でのドリームナイト・アット・ザ・ズーについて ~現状と課題	イベント

<金沢> 14 題

実施日	タイトル	テーマ
4月 27 日	プーズー導入から展示まで	プーズー
5月 13 日	オカピに関する展示とイベントについて	オカピ
6月 20 日	ホンドタヌキの犬糸状虫症の一例	傷病個体
8月 20 日	オオカンガルーにおける育児嚢観察のための馴致状況とそこから得られた事柄について	オオカンガルー
8月 21 日	オオツノヒツジにおける無保定採血トレーニングについて	オオツノヒツジ
9月 11 日	リンゴの入手困難期の代替餌に関する検討	飼料
9月 15 日	飼育下オオツノヒツジにおける PAGs検査キットによる妊娠鑑定の試み	オオツノヒツジ
9月 28 日	インドゾウ飼育施設における床材の使用について	インドゾウ
10月 27 日	獣舎大規模工事の間のコアラ飼育について	コアラ
11月 15 日	保全管理計画に基づくどんぐり池拡大、整備に向けた鳥類モニタリング	域内保全
1月 11 日	43 年の歴史を紡ぐオオツノヒツジ～より良い繁殖を目指した試み～	オオツノヒツジ
2月 5 日	カピバラを悩ます軟便は治るのか？～整腸剤投与による便状の回復の経過報告～	カピバラ
2月 23 日	ホンシュウジカにおける体重測定のための馴致	ホンシュウジカ
3月 26 日	ズダンブラック B 染色を用いた白血球百分率の評価方法に関する検討	検査